

令和4年度
畜産経営体生産性向上対策事業
(通称：畜産 ICT 事業)
《ICT 化等機械装置等導入事業》
リース方式による機械装置導入の場合

「事業完了報告」、「支払請求」及び
「実施状況報告」の手続きについて



この手順書について

- ・ 本手順書は、畜産 ICT 事業の ICT 化等機械装置等導入事業の交付決定以降の手続き（事業完了報告、支払請求、実施状況報告等）を解説したものです。
- ・ 機械装置導入後の速やかな補助金の支出をさせていただくため、ご一読の上、書類の作成等をお願いいたします。

- 機械装置の導入は2月末までに完了
- 応援会議からの支払請求は3月15日までに提出

令和4年11月

公益社団法人中央畜産会

目 次

1	I C T化等機械装置等導入事業の手続きフロー（導入後）	1
2	機械装置の導入について（補助金の交付決定後）	3
3	「事業完了報告書」、「支払請求書」及び「実施状況報告書」提出に 当たっての留意点	4

【労働負担軽減経営体は】

	経営体提出物 1：事業完了報告書（別添 16）	4
	経営体提出物 2：実施状況報告書（別添 10）	5
	（参考 1）「4 年度 ICT 化等機械装置等導入事業貼付用シール」の貼り方 に関する留意点	8
	（参考 2）本体以外に写真撮影及びシール貼付の必要な付属機器等	11
	（参考 3）導入した機械装置（本体・付属機器）の記録写真の撮影に関する 留意点	12
	（参考 4）事業完了報告に係る写真撮影参考例	14

【畜産 ICT 応援会議は】

	畜産 ICT 応援会議提出物 1：支払請求書（別添 17）	37
	畜産 ICT 応援会議提出物 2：事業実施状況報告書（別添 11）	38
4	提出書類様式集	39
5	記載例について	57
	（参考 5）I C T化等機械装置等導入事業における成果検証の考え方 について	82

(補助金の交付決定後) 機械装置の導入について

【畜産 ICT 応援会議は、】

中央畜産会からの「補助金の交付決定通知」を受領した後、別途承認を受けた「事業参加承認通知」に基づき、労働負担軽減経営体に連絡し機械装置の導入を推進して下さい。

【労働負担軽減経営体は、】

畜産 ICT 応援会議より補助金の交付決定を受けた旨の連絡を受けた後、承認を受けた「事業実施計画」及び「事業参加承認通知」に基づき、リース会社と以下の手順で機械装置の導入、契約等を進めて下さい。

手順 1：リース契約の締結〔労働負担軽減経営体⇔リース会社〕

- ① 参加申請時に申込書を添付したリース会社とリース契約書を締結して下さい。
- ② 契約日は、中央畜産会からの「補助金の交付決定通知」または「補助金の変更及び追加交付決定」を通知した日以降でお願いします。
- ③ リース会社と締結した「リース契約書（写し）」を事業完了報告書の添付書類として提出していただくことになります。

手順 2：売買契約の締結〔リース会社⇒機械販売会社等〕

※ リース契約締結後、リース会社から販売会社に対して、事業参加承認を受けた機械装置を発注してもらって下さい。

手順 3：機械装置の導入

※ 事業参加承認を受けた機械装置の導入を行って下さい。

手順 4：借受書の提出〔労働負担軽減経営体⇒リース会社〕

- ① 労働負担軽減経営体に機械装置が導入完了しましたら、リース会社に対して「借受書」を提出して下さい。
- ② リース会社に対して提出した「借受書」の写し（借受日が記入され、押印してあるもの）を「事業完了報告書」及び「実施状況報告書」の添付書類として提出していただくことになりますので、必ず写しをとるようにして下さい。

「事業完了報告書」、「支払請求書」及び 「実施状況報告書」の提出に当たっての留意点

- ・ 労働負担軽減経営体は、機械装置の導入完了後、速やかに応援会議に提出。
- ・ 畜産 ICT 応援会議は、3月15日までに中央畜産会に提出。

【労働負担軽減経営体は】

機械装置の導入完了後、以下の手順により速やかに書類を作成し応援会議に提出して下さい。

【労働負担軽減経営体→畜産 ICT 応援会議（とりまとめ）】

- 1：労働負担軽減経営体は、機械装置の導入が完了したら、3に掲げる書類を作成し、畜産 ICT 応援会議に提出して下さい。
なお、応援会議が中央畜産会に書類の最終提出期限は令和5年3月15日です。
実際は経営体の属する応援会議で期限を決めて、対応して下さい。
- 2：令和5年3月15日までに、応援会議を経由して中央畜産会に書類が提出されない場合は、補助金のお支払いができませんのでご注意ください。
- 3：提出書類は以下の2種類あります。同時に提出をお願いします。
 - － 事業完了報告書（別添16）：詳細は経営体提出物1を参照
 - － 実施状況報告書（別添10）：詳細は経営体提出物2を参照
- 4：提出書類は、畜産 ICT 応援会議でとりまとめ、都道府県窓口団体を経由して中央畜産会に提出していただくものです。
- 5：複数の機械装置を導入する場合には、参加承認のあった補助機械装置ごとに提出することも可能です。

事業完了報告書（経営体提出物1）

次の【1】及び【2】の様式、並びに〔添付書類等〕の（1）～（5）を畜産 ICT 応援会議へ提出して下さい。

【1】【畜産 ICT 事業】労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類
確認表（本手順書の45頁、58～59頁参照）

【2】事業完了報告書（別添16）（本手順書の47頁、60～61頁参照）

〔添付書類等〕

（1）リース契約書（写し）

- ① リース会社と締結したリース契約書の写しを提出して下さい。
- ② 事業参加承認申請書に添付したリース申込書の記載内容と異なる場合、補助金のお支払いができませんのでご注意ください。

なお、「リース契約書（写し）」は、次の事項について確認を行いますので、確認できる写しを提出して下さい。

リース契約番号、契約日、契約者の住所・法人名称・氏名、
機械装置の型式、数量、販売事業者等の名称、リース期間、
機械装置の取得金額と補助金額、設置場所等

（２）借受書（写し）

- ① 導入完了後にリース会社に提出した物件の**借受書の写し**を提出して下さい。
- ② 要望調査票（又は参加申請書）提出時に添付した見積書（写）に記載された内容と異なる場合、補助金のお支払いができませんのでご注意下さい。

（３）貸付機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、型式、台数）

- ① （２）で掲げる「**借受書（写し）**」及び**経営体提出物２**の「**実施状況報告書（添付資料を含む）**」を提出いただくことで、代用します。
- ② 上記で提出された書類から、要望調査票（又は参加申請書）提出時に添付した見積書（写）に記載された内容の納入が確認できない場合、別途、追加提出を求めることがありますので、留意して下さい。

（４）納入当日に撮影した機械装置の全景写真

（５）製造番号等の確認が可能な写真

提出された複数枚の写真と、要望した計画内容（見積書）、及び参加承認した内容（型式・数量等）、事業実施状況報告の内容（機械装置製造番号等）と照合し、計画どおり機械装置が導入したことを確認しております。この確認ができない場合は、支払ができない場合もあります。

このため、「導入した機械装置（本体・付属機器）の記録写真の撮影に関する留意点」（１２頁）を踏まえて、機械の納入当日又は設置した当日に、「４年度 ICT 化等機械装置等導入事業貼付用シール」（８頁参照）を貼り付け、写真撮影を行ってください。

写真の送付に当たっては、導入した全ての機械装置（本体・付属機器）について１台ごとに説明するつもりで必要な枚数の写真を送付して下さい。

経営体提出物２：実施状況報告書関係

【１】及び【２】の様式、並びに【添付書類等】の（１）～（２）を畜産 ICT 応援会議へ提出して下さい。

【１】実施状況報告書（別添 10）

（本手順書の 40～42 頁、68～73 頁参照）

【２】別紙（別添 10 添付用）「補助対象機械装置の詳細（実施状況報告）」

別添 10 の別紙として「**補助対象機械装置の詳細（実施状況報告）**」を提出して下さい。

- ① 自動乳頭洗浄機、自走式配餌車、餌寄せロボットなど本体のみの導入の場合であっても、省略せず、必ず提出して下さい。
- ② 製造番号のあるものは本体、付属機器に関わらず記載をお願いします。

〔添付書類等〕

（１）リース契約書（写し）及び借受書（写し）

- ① 事業完了報告書に添付し提出いただくことで、この報告書の提出は省略することができます。

（２）補助対象機械装置の導入報告書 別添 10－1

- ① 「畜産 ICT 応援会議名」は、所属する畜産 ICT 応援会議の正式名称を記入。
- ② 「労働負担軽減経営体名」は、事業参加申請書に記載された労働負担軽減経営体名を以下のとおり記入。
 - － 個人経営の場合は、「組織名」は空欄とし、「代表者名」に「経営者氏名」を記載。
 - － 法人経営の場合は、「組織名」に「法人名称」を、「代表者名」に「代表者氏名」を記載。
- ③ 「対象機械装置の名称」は、事業参加承認通知書の「機械装置の種類」の欄に記載された内容（搾乳ロボット、ミルキングパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルカー自動離脱装置、自動乳頭洗浄機、自動給餌機（濃厚飼料）、自動給餌機（濃厚・粗飼料）、ほ乳ロボット、移動式ほ乳機、餌寄せロボット、自走式配餌車、稲わら細断機、発情発見装置、分娩監視装置、行動監視装置（繁殖管理）、行動監視装置（肥育管理）、行動監視装置（放牧管理）、パンスクレーパー、敷料散布機のいずれか）ごとに記入。
- ④ 「製造メーカー名」は、事業参加申請書の製造メーカー名であり、販売事業者等ではないので注意して下さい。
- ⑤ 「型式」は、事業参加承認通知書の記載の「型式（規格・規模）」又は「型番」を記入して下さい。
- ⑥ 「機械装置製造番号」は必ず記入（ただし、販売事業者等にも確認し、当該番号が無い機械装置の場合は「なし（販売事業者確認済み）」と記入して下さい）。
 - － 本体と付属機器で構成する場合は、本体の製造番号（シリアルナンバー）を記入すること。
 - － ミルカー自動離脱装置のように、複数の台数が納品されるような製品については、すべての製造番号を記入して下さい。
 - － 発情発見装置のように、若干台数の受信機（親機）に対して、複数（頭数分）の発信子機（タグ等）が納品されるような製品については、親機の番号を記入して下さい。

- ⑦ 「販売事業者等の名称」は、販売業者等を記入して下さい。
- ⑧ 対象機械装置の「納入年月日」は、動作確認・検収が完了し、導入が完了した年月日を記入して下さい。
リース契約している機械装置については、原則、物件借受書の検査完了日（リース開始日）、又は検収日を記入して下さい。
- ⑨ 「貸付番号」は、機械装置の「契約番号」、「協会の標示（リース番号）」、又は「貸付記号」等を記入して下さい。
- ⑩ 「所見」欄は、以下のとおり記入して下さい。
- 申請内容と相違ないか
⇒「申請どおり」または「相違なし」と記入。
 - カタログどおりか
⇒「カタログどおり」と記入。
 - 新品であるか
⇒「新品」と記入。
ただし、中古物件を申請した場合は、「中古」と記入。
 - 試運転の結果どうか
⇒「良好」と記入
 - 業者から取扱説明を受けたか
⇒「受けた」と記入。
- ※ 上記のように記入されていない導入報告書は、補助金を支払できない場合があります。

(参考 1)

「4 年度 ICT 化等機械装置等導入事業貼付用シール」の貼り方に関する留意点

1 事業の実施を確認する貼付用シールについて

事業を完了した時は、補助対象の機械装置を事業で導入したことを証明する貼付用シール（以下「事業ステッカー」という。）を目の付きやすい場所に貼付することになっていることから、次のことに留意して事業ステッカーを貼付してください。

（実施要領別紙 11 の I の第 4 の 8 の（事業名等の表示）関連）



2 基本的な事業ステッカーの貼付

（1）参加申請書の「補助対象機械の詳細」に記載した「**本体**」及び「**付属機器**」には原則、貼付して下さい。

ただし、本体に一体的に組み込まれている付属機器については本体のみに貼付し、また、装置の集合体（搾乳関係など）については、まとめて 1 か所に貼付して下さい。

（2）事業ステッカーは、型式や製造番号が記載されている銘板（プレート）と並べて貼付して下さい。

（3）機械装置本体に付属する管理ソフトについては、CD 等の媒体によりソフトが提供される場合は、CD 等が包装されている箱（ケース）に貼付して下さい。

（4）高所に設置する機械装置等については設置前に貼付して下さい。

3 対象機械ごとの事業ステッカーの貼付

（1）搾乳ロボット

① 製品番号等を掲示している付近に 1 枚貼付

② 搾乳ロボットに一体的に組み込まれている機械装置は貼付不要

③ 2 台導入の場合は、それぞれに 1 枚を貼付

④ ただし、次の付属機器にも貼付

※ 個体識別ゲート、バッファタンク及び予冷装置、フィードステーション、真空ポンプ、自動記録機器等

⑤ 管理ソフトを導入する場合は、CD 等の箱（ケース）に貼付

（2）ミルクパーラー

① ミルクパーラーは、いくつかの機械装置の集合体なので、それぞれの機械装置には貼付不要。ただし、付属機器がある場合はそれぞれの付属機器に貼付

- ② ミルキングパーラー（全体）の適当な箇所に 1 枚貼付
- ③ ただし、次の付属機器にも貼付
※ 個体識別ゲート、授乳装置、バッファタンク及び予冷装置、フィードステーション、真空ポンプ、自動記録機器等
- ④ 増設の場合は、増設部分のストール、離脱装置等に台数分貼付
- ⑤ 管理ソフトを導入する場合は、CD等の箱（ケース）に貼付

（3）搾乳ユニット搬送レール（自動、手動）

- ① 搬送レールは本体となっているので「搬送レール」に 1 枚貼付
（※ 搬送レールに貼れない場合は、搬送レールの近くの壁等に貼付）
- ② 搾乳ユニット搬送レールで自動方式の場合は、自動搬送装置（キャリロボなど） 1 枚ずつ台数分貼付
- ③ 付属機器として搾乳ユニット、パイプライン等を導入している場合は全体の分として集乳室等の搾乳施設の見やすい場所に 1 枚貼付
〔例〕自動：レール（1 枚）＋搬送装置（台数分）＋その他付属機器一式（1 枚）
手動：レール（1 枚）＋その他付属機器一式（1 枚）〕

（4）ミルカー自動離脱装置

- ① 自動離脱装置は 1 枚ずつ台数分貼付
- ② 自動離脱装置のほかに付属機器を導入した場合は、③の「搾乳ユニット搬送レール」と同様に全体の分として集乳室等の搾乳施設の見やすい場所に 1 枚貼付

（5）自動乳頭洗浄機

- ・ 製品番号等を掲示している付近に 1 枚貼付

（6）自動給餌機（濃厚飼料タイプ・濃厚・粗飼料タイプ）

- ① 自動給餌機本体に貼付
- ② レール走行式の場合はレールにも 1 枚貼付
- ③ エレベーター、サイレージストッカー、コンベア等の付属機器にも貼付
- ④ 管理ソフトを導入する場合は、CD等の箱（ケース）に貼付

（7）ほ乳ロボット（レール式を含む）

- ① ほ乳ロボット本体に貼付
- ② 2 台以上の導入の場合は、1 台ごとに 1 枚を貼付
- ③ カーフレール式の場合は、カーフレール本体に台数分貼付及びレールにも 1 枚貼付

（8）餌寄せロボット

- ① 製品番号等を掲示している付近に 1 枚貼付
- ② 2 台以上の導入の場合は、1 台ごとに 1 枚を貼付
- ③ 充電器などには貼付不要

（9）稲わら細断機

- ・ 製品番号等を掲示している付近に 1 枚貼付

(10) 自走式配餌車

- ① 製品番号等を掲示している付近に1枚貼付
- ② 付属機器を導入の場合は、それぞれに1枚を貼付

(11) 移動式ほ乳機

- ・ 製品番号等を掲示している付近に1枚貼付

(12) 発情発見装置

- ① 送受信器（ルーター及びゲートウェイを含む）及び監視カメラに台数分貼付
- ② タグ付きセンサー及び保定器具等には貼付不要
- ③ 管理ソフトを導入する場合はCD等の箱（ケース）に貼付

（※ 受信器、カメラ等の牛舎の高所に設置するものについては、
設置する前に事業ステッカーを貼ってください。）

(13) 分娩監視装置

- ① 送受信器（ルーター及びゲートウェイを含む）及び監視カメラに台数分貼付
- ② タグ付きセンサー及び保定器具等には貼付不要
- ③ 管理ソフトを導入する場合はCD等の箱（ケース）に貼付

（※ 受信器、カメラ等の牛舎の高所に設置するものについては、
設置する前に事業ステッカーを貼ってください。）

(14) 行動監視装置

- ① 送受信器（ルーター及びゲートウェイを含む）及び監視カメラに台数分貼付
- ② タグ付きセンサー及び保定器具等には貼付不要
- ③ 管理ソフトを導入する場合はCD等の箱（ケース）に貼付

（※ 受信器、カメラ等の牛舎の高所に設置するものについては、
設置する前に事業ステッカーを貼ってください。）

(15) バーンスクレーパー

- ① スクレーパー本体（羽根の部分）ではなく、ドライブユニットに1枚ずつ台数分貼付
- ② 動作時に剥がれにくい箇所、汚れない箇所に貼付

(16) 敷料散布機

- ① 敷料散布機本体に貼付
- ② レール走行式の場合はレールにも1枚貼付
- ③ エレベーター、ストッカー、コンベア等の付属機器にも貼付

本体以外に写真撮影及びシール貼付の必要な付属機器等

<搾乳関係機械装置の付属機器>

- 導入する搾乳関係機械装置の能力を発揮させるために必要な付属機器（パイプラインミルクカー、真空ポンプ、受乳装置、乳量データの自動記録装置、飼養管理ソフト）
- 導入する搾乳関係機械装置搾乳ユニット搬送レール（自動、手動）の設置・稼働に不可欠な簡易な資材（パイプラインミルクカー、配管径をサイズアップしたミルク配管、搾乳ユニットとの自動接続に適合するミルクタップ、レール吊下げ支持部材）
- 搾乳ロボットやミルクングパーラーを導入する場合の高度化対応装置（個体識別ゲート、搾乳ロボット専用の予冷装置及びバッファタンク）
- 搾乳ロボットやミルクングパーラーを導入する場合の群飼において個体能力を発揮させるための飼料給与装置（フィードステーション等）
- 搾乳関係機械装置の管理ソフト

<飼料給与関係機械装置の付属機器>

- 自動給餌機（吊下レール式、トロリー式または地上レール式）を導入する場合において、飼料を調製・投入するための付帯装置（サイレージストッカー、サイレージエレベーター、ベルトコンベア、定置式ミキサー）
- 自動給餌機の吊下レール、地上レール、トロリー、吊下レール支持部材
- 自動給餌機や搾乳ロボットの管理ソフト

<家畜飼養関係機械装置の付属機器>

- 発情発見機の管理ソフト
- 分娩監視装置の管理ソフト
- 行動監視装置の管理ソフト
- 敷料散布機を導入する場合において、敷料を投入するための付属装置（敷料ストッカー、敷料投入コンベアなど）

(参考3)

導入した機械装置（本体・付属機器）の記録写真の撮影に関する留意点

1 事業の完了報告において提出する記録写真について

畜産ICT事業により導入した機械装置については、事業完了報告において機械装置の記録写真を提出することになっていますが、記録写真の不備が散見され追加写真の提出のために事業完了報告の確認（型式・数量・製造番号等）・審査が遅れ、補助金の支払事務に支障を来すことが発生している状況です。

そのため、記録写真の撮影については、事業完了時における記録写真の撮影の仕方を整理しましたので、次のことに留意して記録写真の撮影を行って、写真の提出をしてください。

(1) 撮影範囲

導入した機械装置の検証写真については、参加申請の別紙「補助対象機械装置の詳細」の記載内容と照合できるよう、機械本体及び付属機器に事業ステッカーを貼って撮影します。

※ 事業ステッカーの貼付方法については、「I事業ステッカーの貼り方に関する留意点」を参照し、付属機器については可能な限り貼り付けてください。

(2) 撮影方法

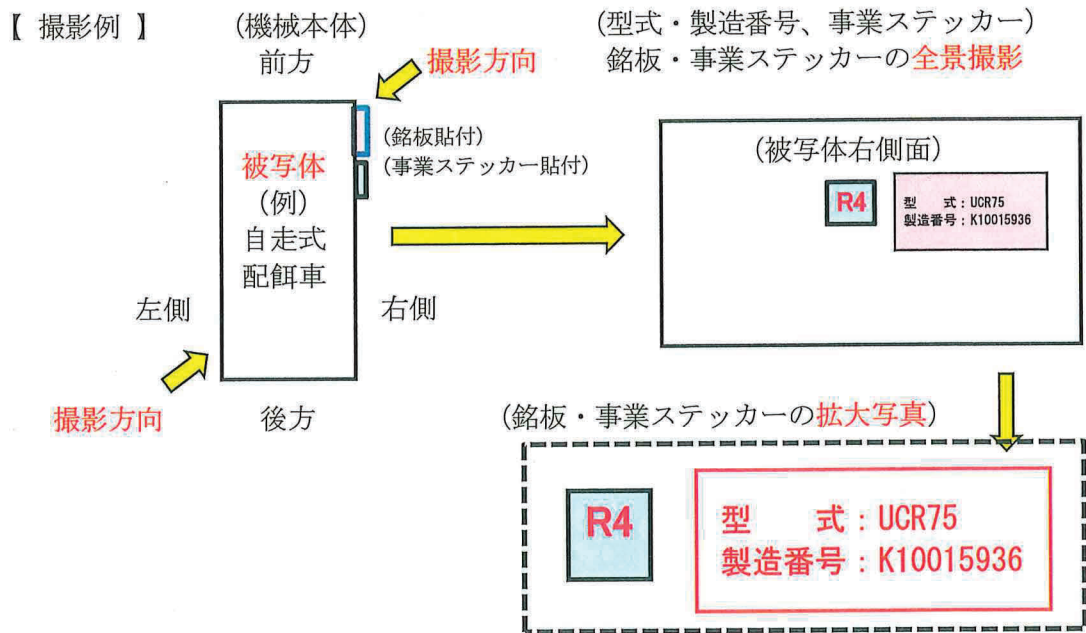
① 単体で作業ができる機械装置（例：餌寄せロボット、自走式配餌車等）

a 機械装置本体の撮影

- ・ 写真は屋外（屋内は照明を準備）などの明るいところで撮影
- ・ 写真は前後左右の四方面から全景を撮影
- ・ 四方面撮影が難しい場合は、下図とおりの前後の斜め二方面から撮影

b 機械装置の型式・製造番号の銘板（ラベル）及び事業ステッカーの撮影

- ・ 機械の銘板（ラベル）、事業ステッカーが貼付されている面の全景を撮影
- ・ 銘板（ラベル）の記載内容が確認できるようクローズアップで撮影
- ・ 写真はカラーで撮影して、カラーで提出して下さい。（白黒だと室内での写真は、機械装置で判断ができないため、カラーで提出して下さい。）



- ② 施設に据え付けられる機械装置（搾乳ロボット、搾乳ユニット搬送レール等）
施設に据え付けられる機械装置については、施設に据え付けられた状態で前項①の撮影方法を基本として撮影し、機械本体とともに導入した全ての付属機器も同様に撮影してください。
- a 複数セットの機械装置の撮影（搾乳ユニット搬送レール＋ミルカー自動離脱装置）
- 施設に据え付けられた搾乳ユニット搬送レールのミルカー自動離脱装置の検証写真は、導入したミルカー自動離脱装置の全ての台数が確認できるように**寄せて全景を撮影**
- b 機械装置本体と一体的に導入される複数の付属機器（タグ等）及びシステムソフトの撮影（発情発見装置等）
- 施設内に点在して設置される機械装置等については、機械装置等の設置前（納品時）にそれぞれの機械装置（付属機器を含む）等を撮影
 - システムに付帯するタグ及びネックバンド等については、製品を一つずつ撮影するのではなく、全ての製品を並べた状態又は梱包箱のふたを開いた状態で納品数量が確認できるよう一括撮影するとともに、製品の一部を抽出して型式・製造番号が確認できる写真を撮影（**※併せて型式・製造番号等の一覧を作成して提出**）
 - 機械装置を制御するシステムソフトが附帯している場合、CD-ROMと説明書等を並べた状態の写真
 - システムソフトの現物がなくパソコン等にインストールされているものは、システムを立ち上げたディスプレイ画面の写真

(参考4)

事業完了報告に係る写真撮影参考例

(1) 搾乳関係機械装置

・ 搾乳ロボット（フリーストール用）	15
・ ミルキングパーラー	16
・ 搾乳ユニット搬送レール（ミルカー自動離脱装置付き）	17
・ 自動乳頭洗浄機	19

(2) 飼料給与関係機械装置

・ 自動給餌機（吊下げ式）	20
・ ほ乳ロボット（据置式）	21
・ ほ乳ロボット（レール式）	22
・ 餌寄せロボット	24
・ 自走式配餌車	25

(3) 家畜飼養管理機械装置

・ 発情発見装置（首タグ）	26
・ 発情発見装置（足タグ）	28
・ 分娩監視装置（監視カメラタイプ）	30
・ 分娩監視装置（体温測定タイプ）	32
・ バーンスクレーパー	33
・ 敷料散布機	35

【搾乳ロボット（フリーストール用）】

事業名： 令和4年度畜産ICT事業（ICT化等機械装置等導入事業）

応援会議名： ○○○○畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社○○○○農場

機械装置名： 搾乳ロボット（型式：VMS V300 製造番号：JH-802474860001-TU）

・写真撮影の留意点は
P12～13、
台紙はP48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【本体（左側）】



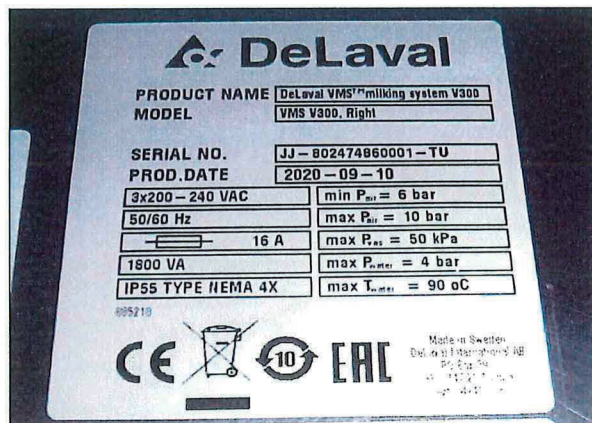
【本体（右側）】



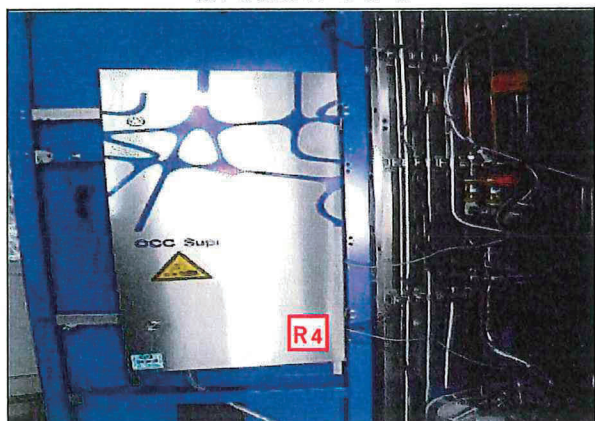
【本体（搾乳ボックス）】



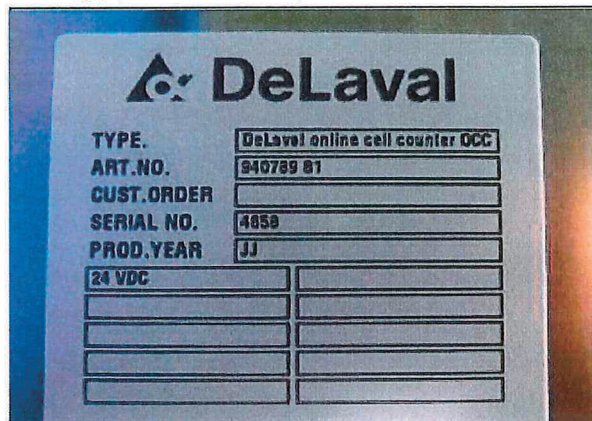
【本体製造番号：JH-802474860001-TU】



【体細胞測定装置】



【体細胞測定装置（製造番号：4858）】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【ミルクグパーラー】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： ミルクグパーラー（型式：PMH76SJ 製造番号：810001）

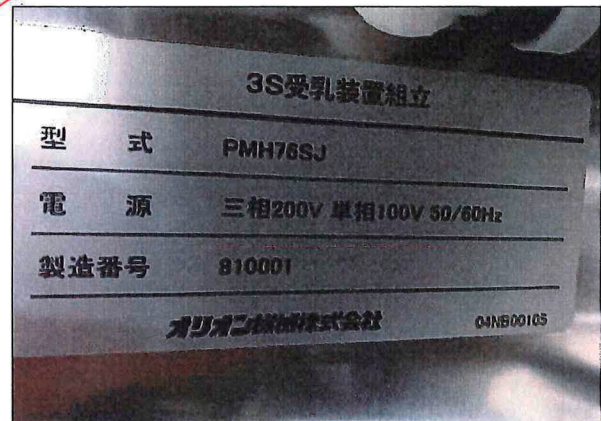
・写真撮影の留意点は
P12～13、
台紙はP48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【本体（授乳装置 PMH76SJ）】



【本体製造番号：810001】

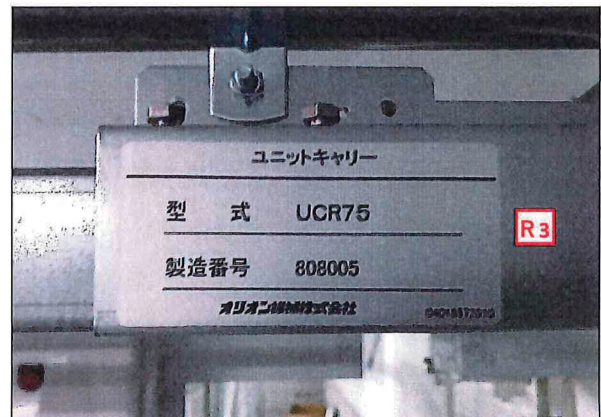


【本体（パーラーストール）】



【ユニットキャリー (UCR75)】

(製造番号：808005)



【自動離脱装置ユニット (OCR5000A) 8台】

(導入台数が確認できるように寄せて撮影)



【自動離脱装置製造番号：0809013】

(導入台数分の写真を貼付)



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【搾乳ユニット（ミルカー自動離脱装置付き）】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

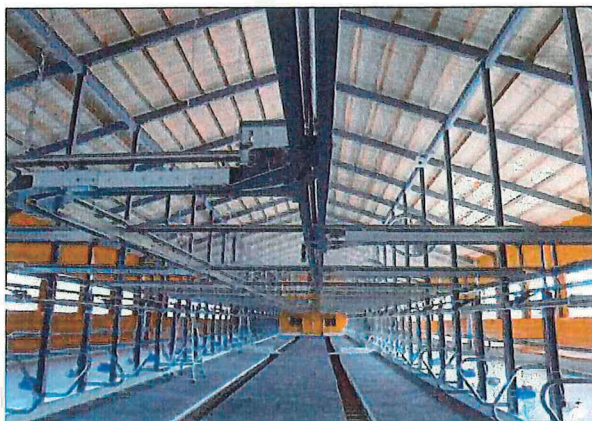
経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 搾乳ユニット搬送レール手動（型式：UCA30A 製造番号：K19800009）

ミルカー自動離脱装置（型式：MMD500 G2 製造番号：別紙一覧のとおり）

・写真撮影の留意点は
P12～13、
台紙はP48参照

【搾乳ユニット搬送レール手動（UCA30A）】



【搬送レール（製造番号：K19800009）】

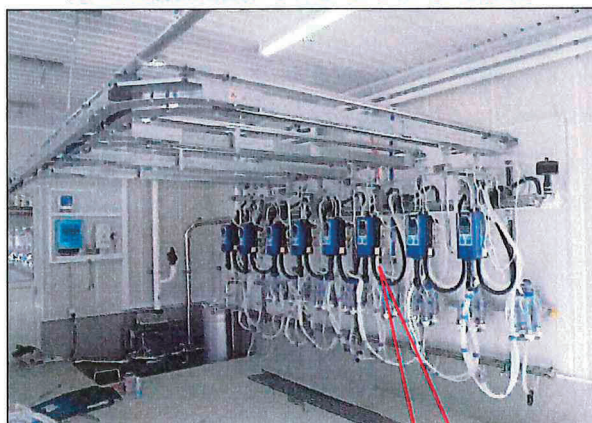


【ミルカー自動離脱装置（MMD500 G）8台】

（導入台数が確認できるよう寄せて撮影）

【自動離脱装置製造番号：12010005015011】

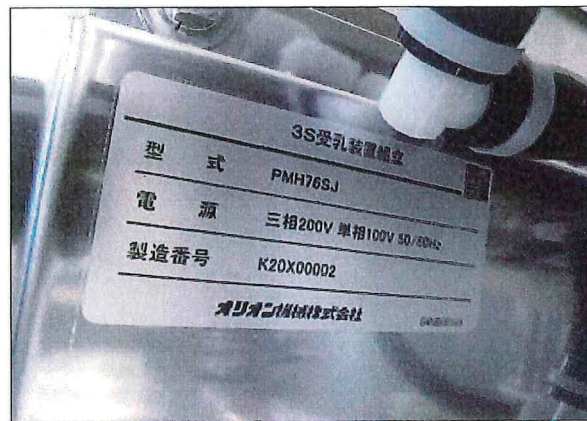
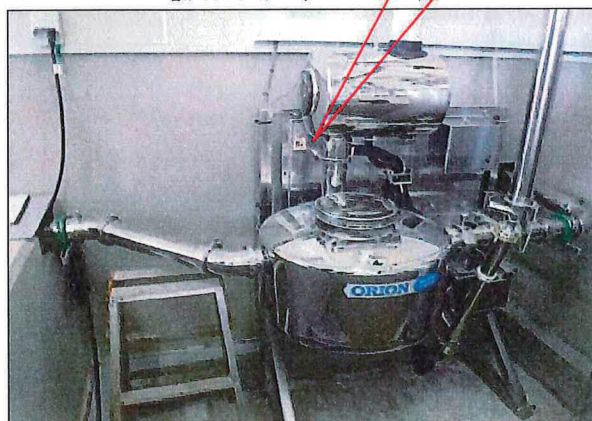
（導入台数分の写真を貼付）



見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全景
写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【授乳装置（PHM76S）】

【授乳装置製造番号：K20X00002】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【搾乳ユニット（ミルカー自動離脱装置付き）】

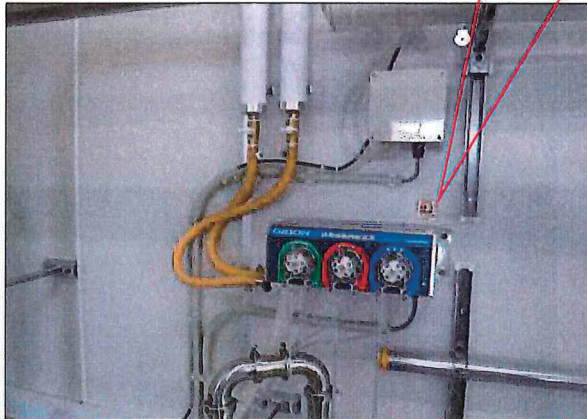
経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 搾乳ユニット搬送レール手動（型式：UCA30A 製造番号：K19800009）

ミルカー自動離脱装置（型式：MMD500 G2 製造番号：別紙一覧のとおり）

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【制御装置 (CAS250)】



【制御装置 (CAS250)】



【洗浄装置制御盤】



【洗浄用電源装置】



【真空発生装置 (OK-18HB)】



【真空発生装置製造番号：K2090DD18】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【自動乳頭洗浄機】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

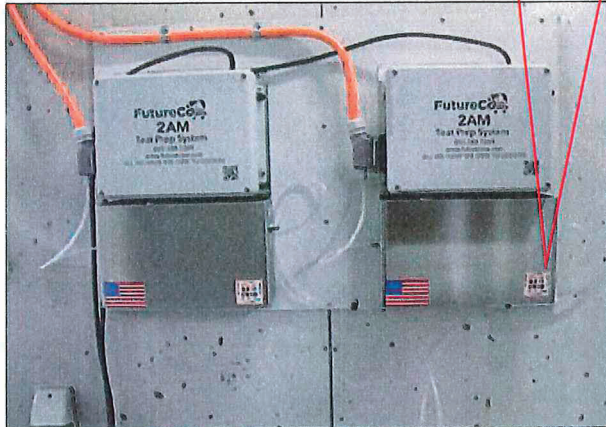
経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 自動乳頭洗浄機（型式：2AM 製造番号：5233、5262）

・写真撮影の留意点は
P12～13、
台紙はP48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【自動乳頭洗浄機制御装置 (2AM)】



【自動乳頭洗浄機 配置箇所】



【自動乳頭洗浄機 (本体)】



【自動乳頭洗浄機 (本体)】



【自動乳頭洗浄機 (製造番号：5233)】



【自動乳頭洗浄機 (製造番号：5262)】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【自動給餌機（吊下げ式）】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 自動給餌機（型式：DEC-HDR 製造番号：HDR-4022）

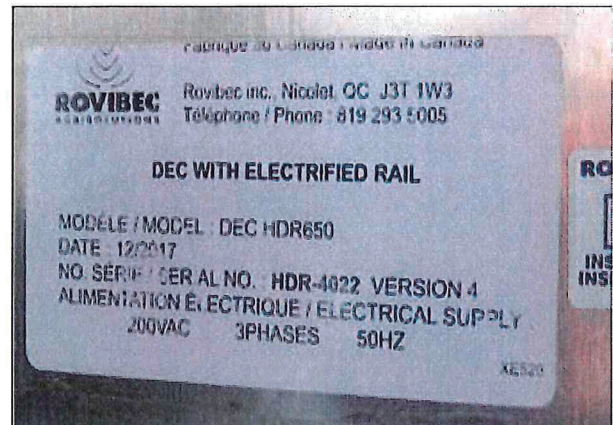
・写真撮影の留意点は
P12～13、
台紙はP48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【自動給餌機（DEC-HDR）】



【自動給餌機（製造番号：HDR-4022）】



【コントロールボックス】



【自動給餌機・コンベアー設置状況】



【コンベアー】



【コンベアー（製造番号：CD96-1152）】



※【 】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【ほ乳ロボット（据置式）】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： ほ乳ロボット（型式：カーフイーダー・パリオスマート 製造番号：10019883）

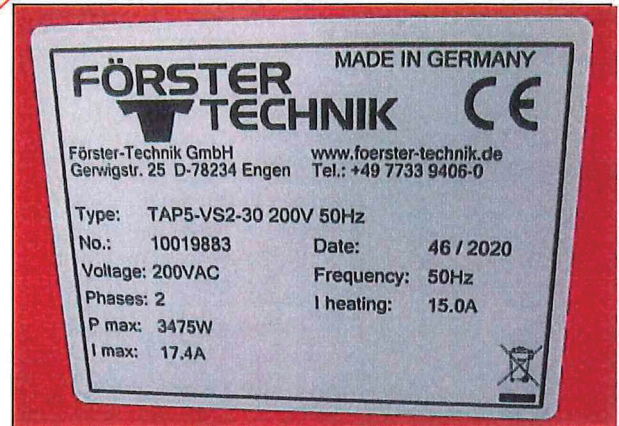
・写真撮影の留意点は
P 12～13、
台紙はP 48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【ほ乳ロボット（カーフイーダー・パリオスマート）】



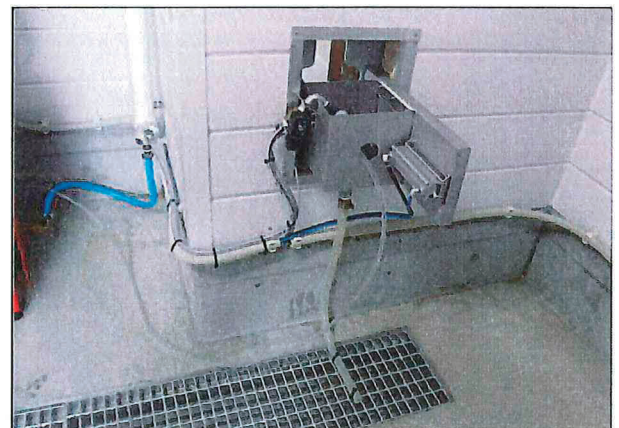
【ほ乳ロボット（製造番号：10019883）】



【ほ乳ステーション】



【ティート洗浄装置】



【ネックバンド 20本】別途個体識別コード一覧表作成【識別タグ（個体識別番号）】

(導入本数が確認できる全景写真)

(他に導入個数が確認できる全景写真)



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【ほ乳ロボット（レール式）】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： ほ乳ロボット（型式：G2パウダー 製造番号：10019134）

カーフレール（型式：CRS2-1F1-WH 製造番号：10018607）

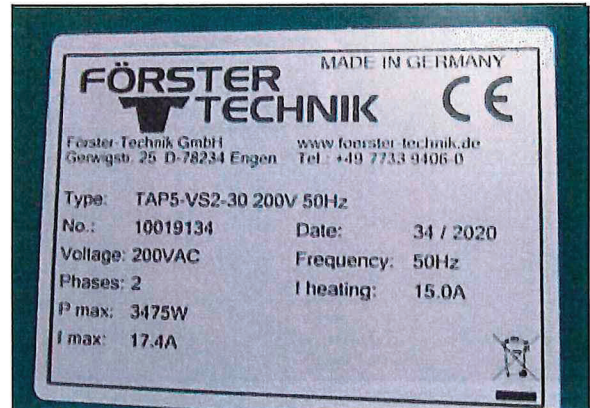
・写真撮影の留意点は
P 12～13、
台紙はP 48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

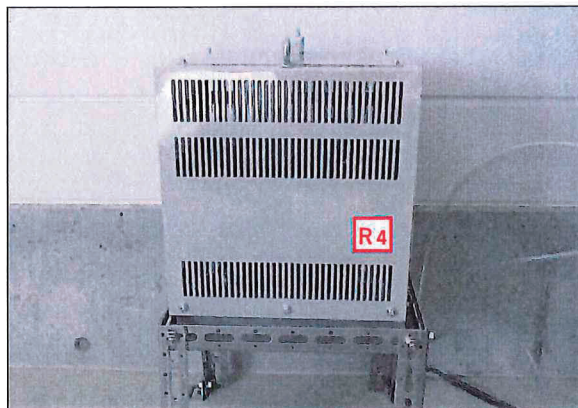
【ほ乳ロボット(G2パウダー)】



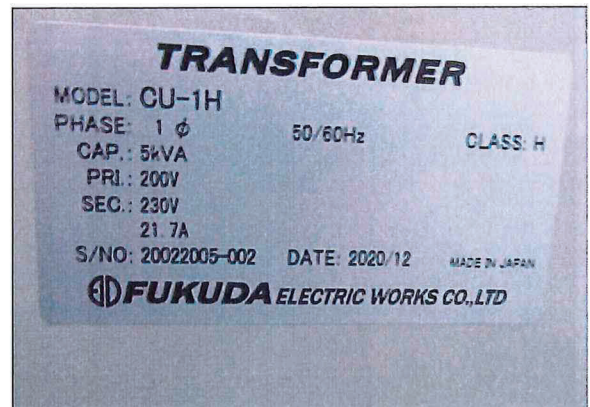
【ほ乳ロボット(製造番号：10019134)】



【変圧トランス】



【変圧トランス（製品仕様ラベル）】



【ホースヒーター（CRS2）】



【ホースヒーター（製品仕様ラベル）】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【ほ乳ロボット（レール式）】

機械装置名： ほ乳ロボット（型式：G2パウダー 製造番号：10019134）

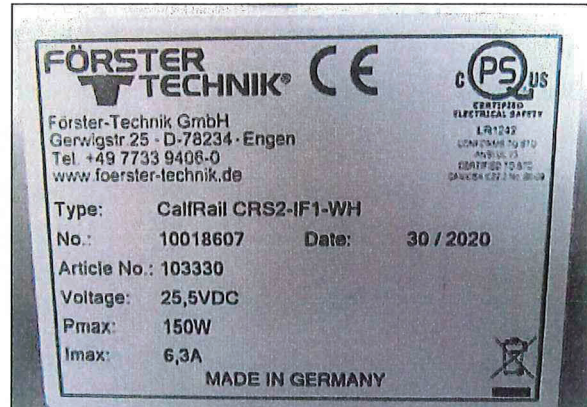
カーフレール（型式：CRS2-1F1-WH 製造番号：10018607）

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

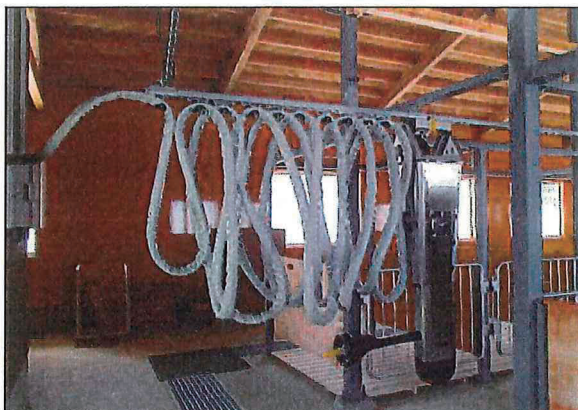
【カーフレール(CRS2-1F1)】



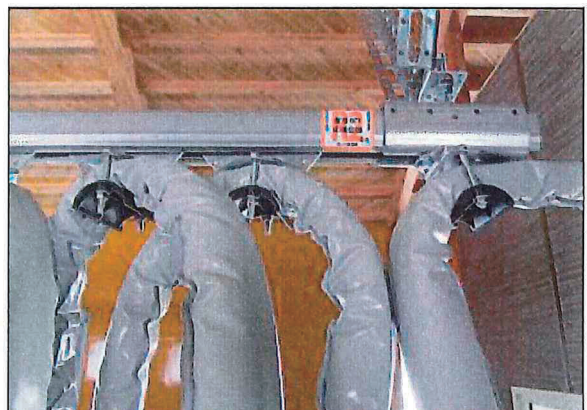
【カーフレール(製造番号：10018607)】



【ガイドレール】



【ガイドレールコネクター】



【ネックバンド 20本】

(導入本数が確認できる全景写真)



別途個体識別コード一覧表作成

【識別タグ】

(他に導入個数が確認できる全景写真)



※【 】内は何の写真か記載すること。(本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量)

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【餌寄せロボット】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 餌寄せロボット（型式：JUNO 製造番号：0003274495）

・写真撮影の留意点はP
12～13、
台紙はP48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

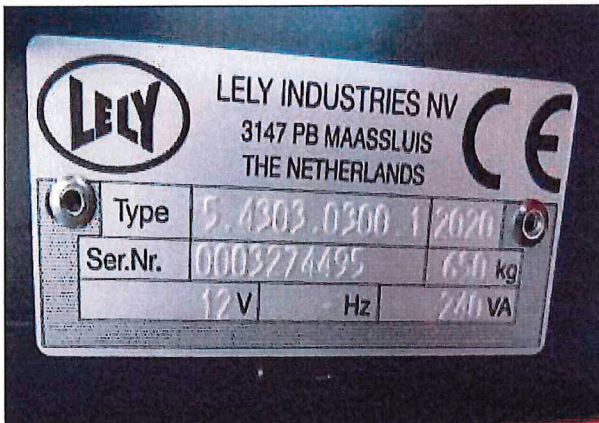
【餌寄せロボット（JUNO）】



【餌寄せロボット（JUNO）】



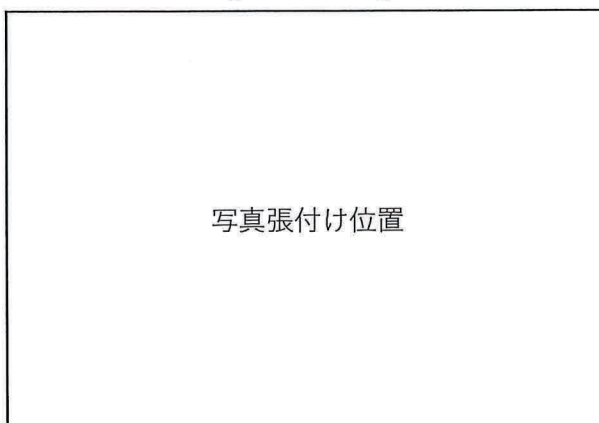
【餌寄せロボット（製造番号：0003274495）】



【餌寄せロボット（事業ラベル）】

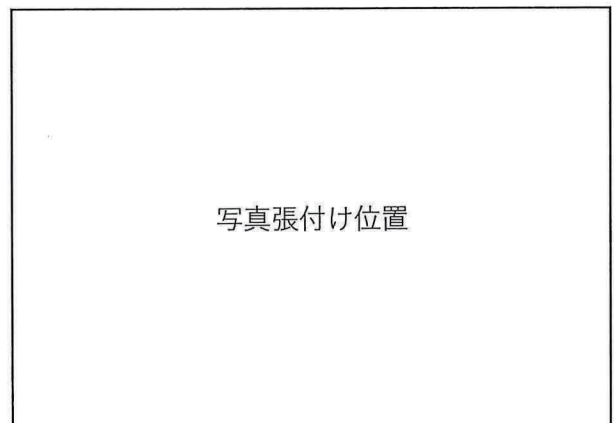


【 】



写真張付け位置

【 】



写真張付け位置

※ 【 】 内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【自走式配餌車】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 自走式配餌車（型式：EF2630 製造番号：100234）

・写真撮影の留意点はP
12～13、
台紙はP48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【本体（運転席）】



【本体正面】



【本体右側】



【本体左側】



【自走式配餌車（製造番号：100234）】



【 】

写真張付け位置

※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配餌車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【発情発見装置（首タグ）】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

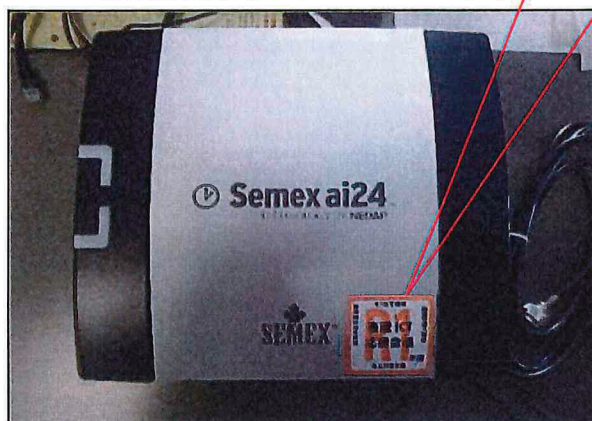
経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 発情発見装置（型式：Semex ai24 製造番号：LN27 G 0009）

・写真撮影の留意点は
P12～13、
台紙はP48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【発情発見装置（Semex ai24）】

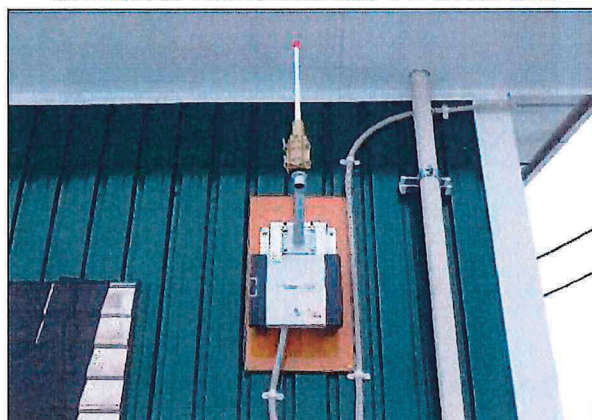


【発情発見装置（製造番号：LN27 G 0009）】



【アンテナ受信機】

(他に各箇所の設置位置が確認できる全景写真)



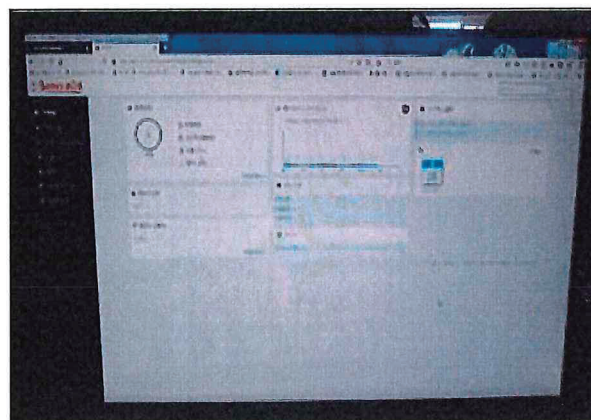
【アンテナ受信機（製造番号：L712C 0001）】



【アンテナ（CXL 900-1LW/m）】



【Semex ai24 システムソフト】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【発情発見装置（首タグ）】

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 発情発見装置（型式：Semex ai24 製造番号：LN27 G 0009）

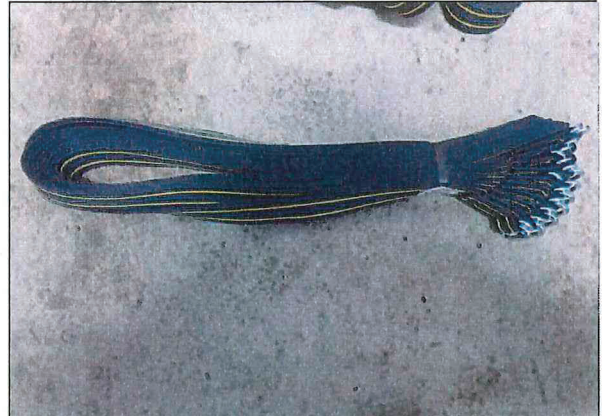
【ネックタグ用ベルト（10本/束×11束）】

（導入本数が確認できる全景写真）



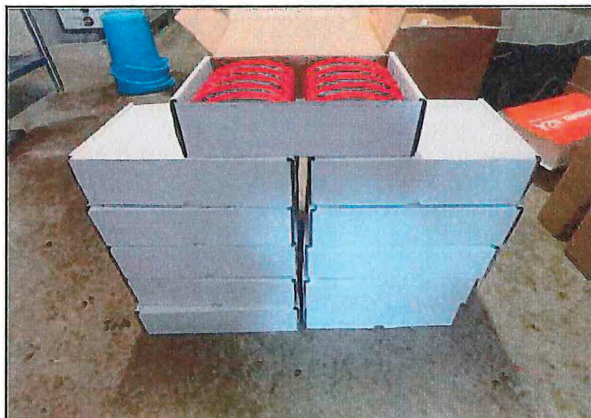
【ネックタグ用ベルト（10本/束）】

（1束の本数が明瞭に確認できる写真）



【識別タグ（10個入/箱×11箱）】

（全箱を開封して並べた全景写真を撮影）



【識別タグ（10個入/箱）】



【個体識別タグ（識別番号別紙のとおり）】



【 】

別途個体識別コード一覧表作成

写真張付け位置

※ 【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【発情発見装置（足タグ）】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

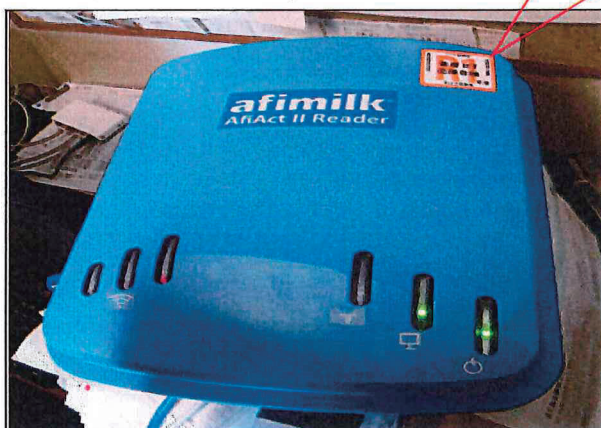
経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 発情発見装置（型式：アフィアクトⅡ 製造番号：194300834）

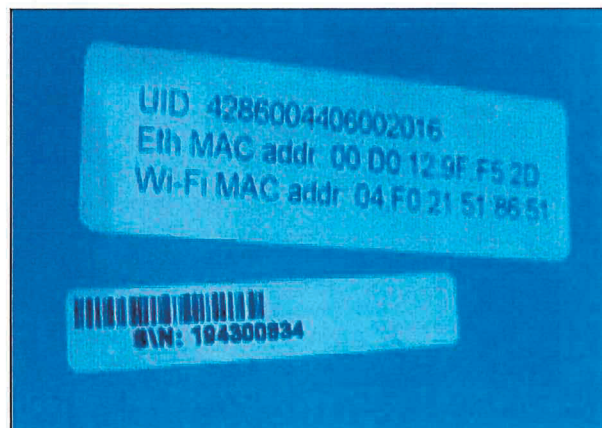
・写真撮影の留意点は
P12～13、
台紙はP48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

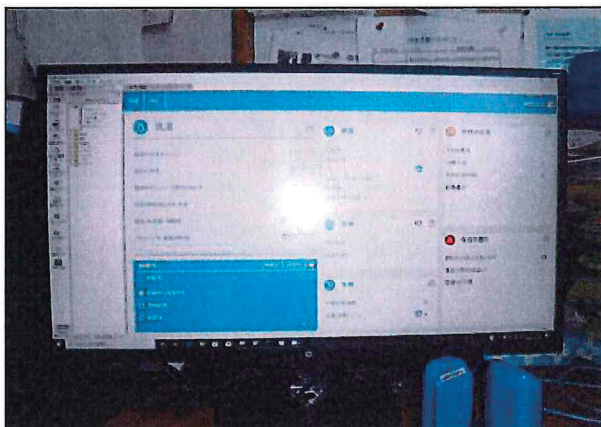
【発情発見装置（アフィアクトⅡ）】



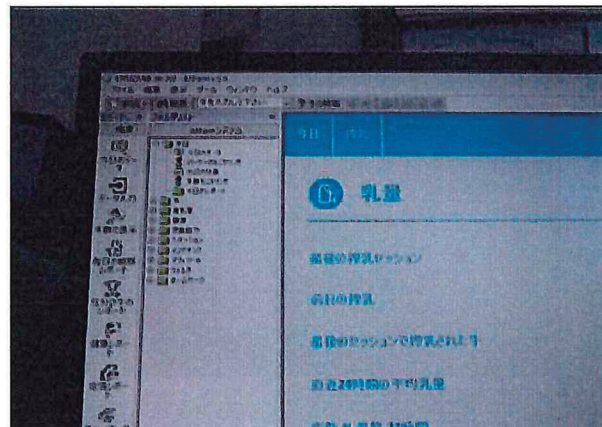
【発情発見装置（製造番号：194300834）】



【飼養管理ソフト】

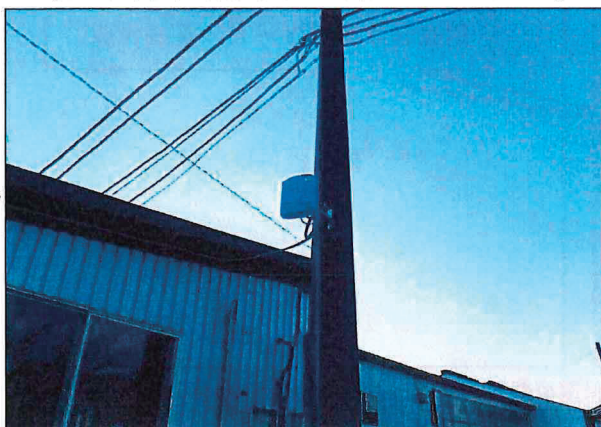


【飼養管理ソフト】



【受信機設置箇所（飼養管理室）】

(他に各箇所の設置位置が確認できる全景写真)



【受信機設置箇所（牛舎）】

(他に各箇所の設置位置が確認できる全景写真)



※【 】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

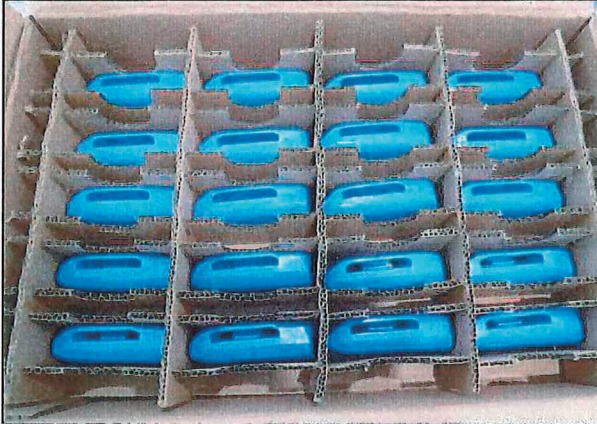
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【発情発見装置（足タグ）】

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

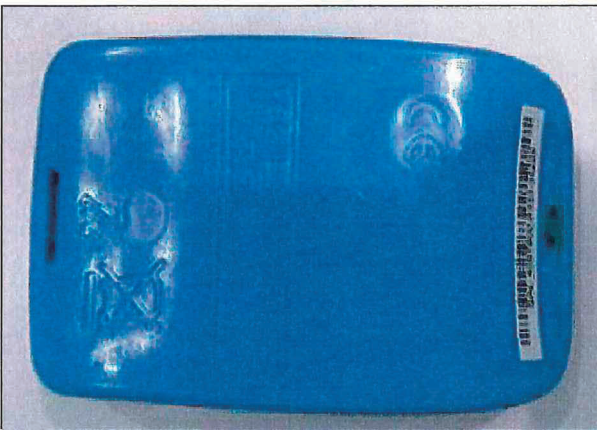
機械装置名： 発情発見装置（型式：Semex ai24 製造番号：LN27 G 0009）

【アフिताグII（足タグ）1箱／20個入】

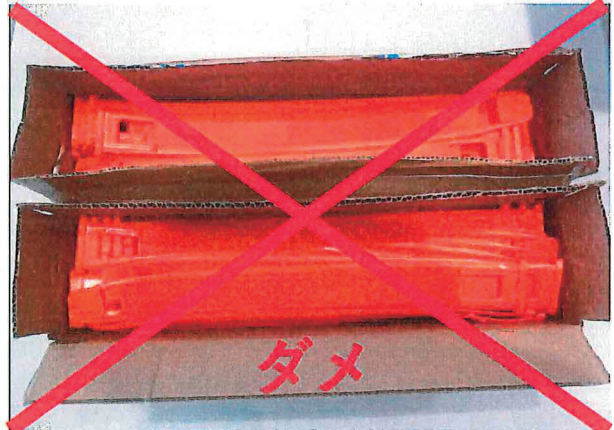


中身を取り出し本数が明確に
に確認できる写真を貼付

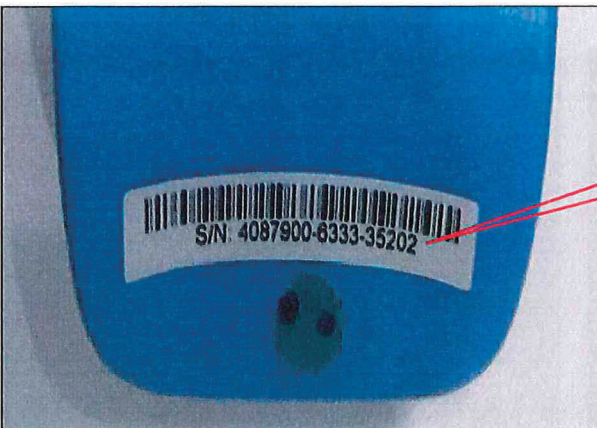
【アフिताグII（足タグ）】



【タグ用ストラップ（製造番号：10本入×2箱）】



【足タグ（製造番号：4087900-6333-35202）】



【 】

別途個体識別コード一覧表作成

写真張付け位置

※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【分娩監視装置（監視カメラタイプ）】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 分娩監視装置（型式：AUR-PTZCAM 製造番号：ACEJ-004182-SZCBD）

・写真撮影の留意点は
P12～13、
台紙はP48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【監視カメラ（AUR-PTZCAM）】



【カメラ（製造番号：ACEJ-004182-SZCBD）】



【カメラ】



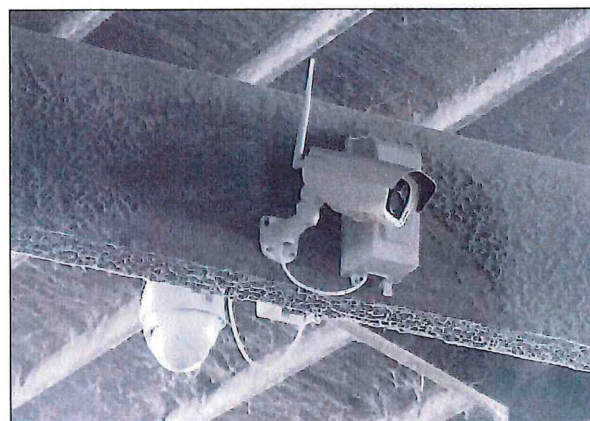
【カメラ（製造番号：ACEJ-004020-LHFSL）】



【カメラ設置箇所】



【カメラ設置箇所】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

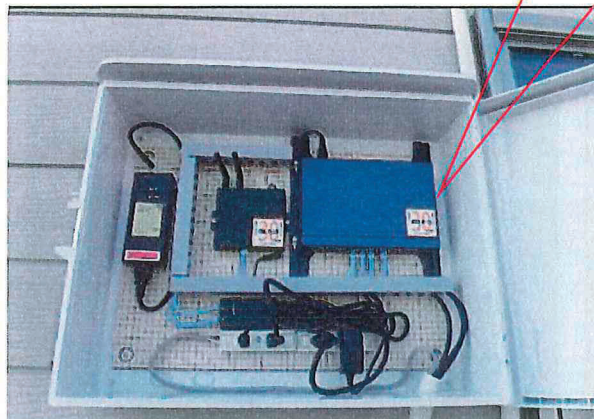
【分娩監視装置（監視カメラタイプ）】

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 分娩監視装置（型式：AUR-PTZCAM 製造番号：ACEJ-004182-SZCBD）

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【システムルータ（RTX830）】



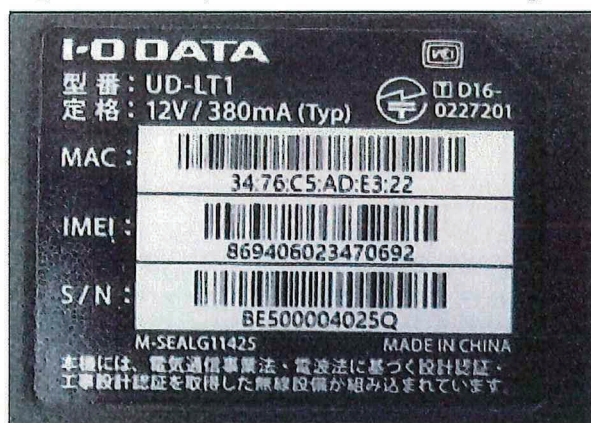
【システムルータ（製造番号：M5B050011）】



【中継ルータ】

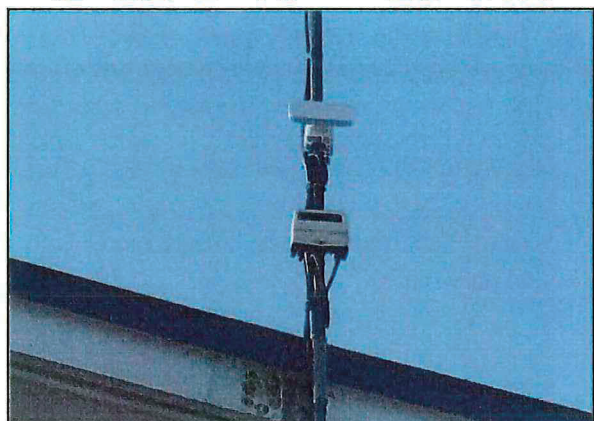


【中継ルータ（製造番号：BE500004025Q）】



【受信アンテナ】

(他に設置位置が確認できる施設全景写真)



【送信アンテナ】

(他に設置位置が確認できる施設全景写真)



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【分娩監視装置（体温測定タイプ）】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

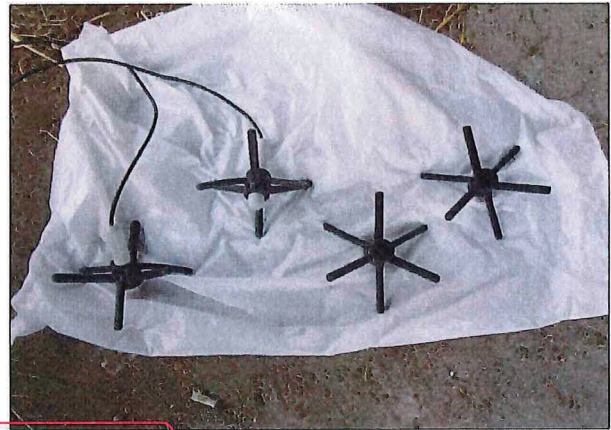
機械装置名： 分娩監視装置（型式：MD1109-MBW 製造番号：mbw03108em）

・写真撮影の留意点は
P12～13、
台紙はP48参照

【分娩監視装置（親機・子機・体温センサー等）】

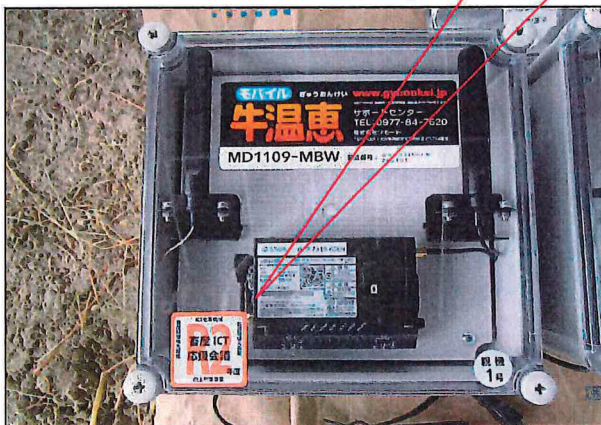


【6本爪ストッパー（4個）】



見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【分娩監視装置（親機：MD1109-MBW）】



【分娩監視装置（親機製造番号：mbw03108em）】



【分娩監視装置（子機：MD1109-MBK）】



【分娩監視装置（親機製造番号：mbk05772em）】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【バーススクレーパー】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

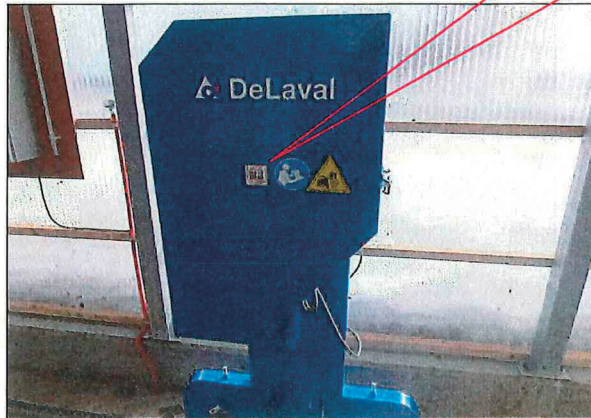
経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： バーススクレーパー（型式：AKD 製造番号：31626）

・写真撮影の留意点は
P12～13、
台紙はP48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【ドライブユニット（AKD）】



【ドライブユニット（製造番号：31626）】



【モーター】



【モーター（製造番号：795-077）】



【コーナーローラ・チェーン配置】



【コーナーローラ・チェーン配置】



※【 】内は何の写真か記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【バーススクレーパー】

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： バーススクレーパー（型式：AKD 製造番号：31626）

【スクレッパーブレード（W=3500）】



【スクレッパーブレード（W=2400）】



【チェーンスクレッパー操作盤】



【操作盤キャビネット（製造番号：6L0907）】

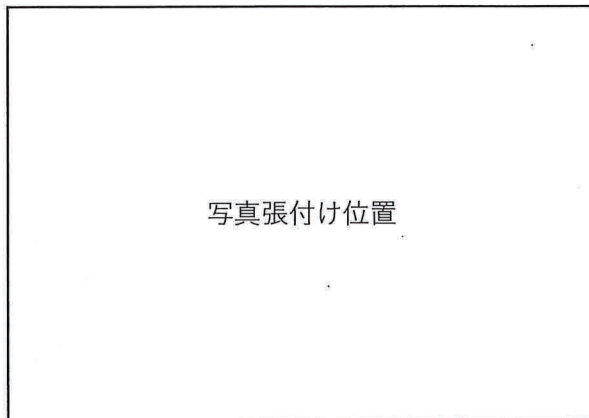


【 】



写真張付け位置

【 】



写真張付け位置

※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【敷料散布機】

事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業（〇〇〇〇）

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 敷料散布機（型式：BSMA08 製造番号：020Z00003）

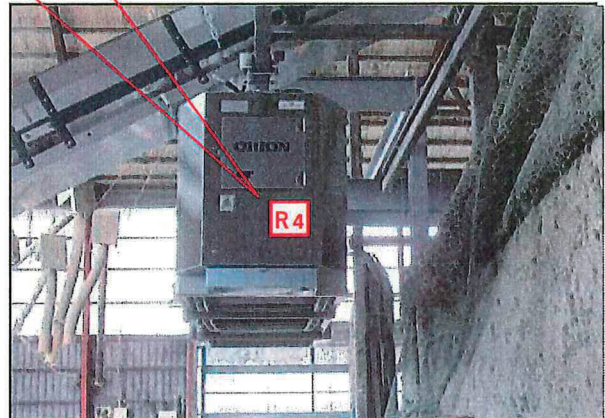
・写真撮影の留意点は
P12～13、
台紙はP48参照

見やすい箇所に事業ステッカーを貼付して全
景写真を撮影(可能な限り銘板付近に貼付)

【敷料散布機（BSMA08）】



【敷料散布機（BSMA08）】



【敷料散布機（製造番号：020Z00003）】



【サイレージエレベーター】



【サイレージエレベーター】



【サイレージエレベーター（製造番号：020Z00003）】



※【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

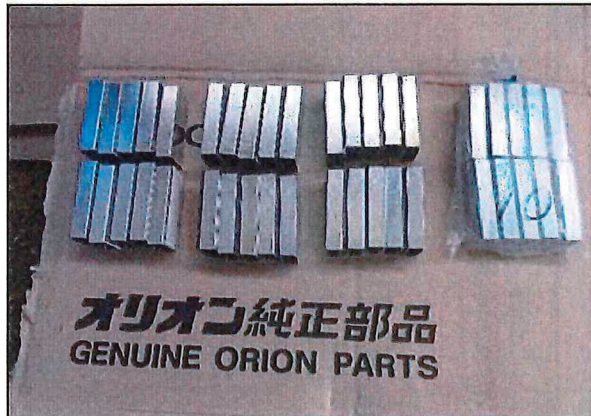
例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【敷料散布機】

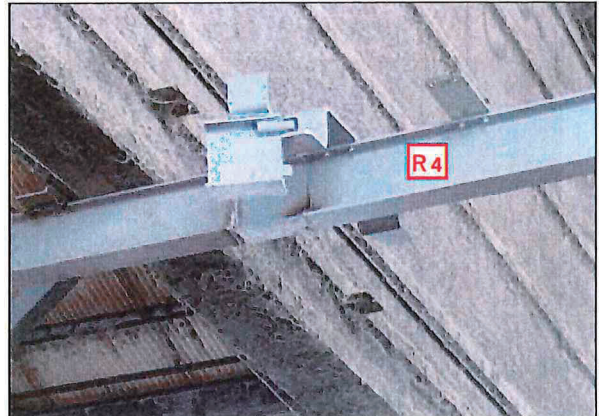
経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 敷料散布機（型式：BSMA08 製造番号：020Z00003）

【ドグ（40個）】



【ガイドレール切替装置】



【敷料散布機ガイドレール（H鋼）】



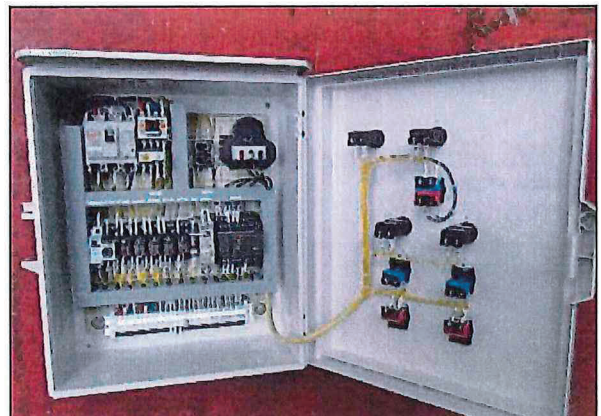
【敷料散布機ガイドレール（H鋼）】



【敷料散布機制御盤】



【敷料散布機制御盤（内部）】



※ 【 】内は何の写真が記載すること。（本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量）

例：【自走式配自車(正面)】、【型式：EF2630 製造番号：100234】、【ネックタグ(50個)】等

【畜産 ICT 応援会議は】

労働負担軽減経営体から事業完了報告書及び実施状況報告書の提出を受けたら、以下の手順により速やかに書類を作成し中央畜産会に提出して下さい。

【畜産 ICT 応援会議→（都道府県窓口団体経由）中央畜産会】

- ※1：畜産 ICT 応援会議は、労働負担軽減経営体からの、事業完了報告書及び実施状況報告書の提出を受けたら、すみやかに報告をとりまとめ、3に掲げる提出物を作成し、道府県窓口団体を経由して中央畜産会に提出して下さい。
- 2：提出物の中央畜産会の最終提出期限は令和5年3月15日です。これに遅れた場合は、補助金のお支払いができないことがありますのでご注意ください。
- 3：提出物は以下の2種類あります。同時に提出をお願いします。
 - 支払請求書（別添17）：詳細は応援会議提出物1を参照
 - 事業実施状況報告（別添11）：詳細は畜産 ICT 応援会議提出物2を参照
- 4：労働負担軽減経営体ごと、あるいは、承認のあった補助対象機械装置ごとに提出することも可能です。書類の揃った経営体から順次ご提出下さい。

畜産 ICT 応援会議提出物1：支払請求書関係

【1】及び【2】の様式、及び〔添付書類等〕の（1）を全て揃いましたら、畜産 ICT 応援会議は同時に道府県窓口団体を経由し中央畜産会へ提出して下さい。

【1】支払請求書（別添17）（本手順書の49～51頁、62～67頁参照）

【2】別紙1（別添17添付用）「支払請求書の提出状況」

別添17の別紙1として「支払請求書の提出状況」も提出して下さい。

〔添付書類等〕

（1）労働負担軽減経営体から申請のあった事業完了報告書

※ 労働負担軽減経営体から申請された「事業完了報告書（別添16、添付資料を含む）」を提出して下さい。

（2）その他交付決定者が必要とする書類

⇒別紙2（別添17添付用）「事前検証状況」の提出

※別添17の別紙2として「事前検証状況」を提出して下さい。

なお、「事前検証状況」の提出がない場合は、労働時間の検証の確認ができないので、支払要件の確認ができませんので、「事前検証状況」は必ず添付し、支払請求書を提出して下さい。

応援会議提出物 2：事業実施状況報告書関係

【1】及び【2】の様式に〔添付書類等〕の（1）の書類を加えて道府県窓口団体を
経由し中央畜産会へ提出して下さい。

【1】事業実施状況報告書（別添 11）

（本手順書の 43～44 頁、74～77 頁参照）

【2】別紙（別添 11 添付用）「事業実施状況報告書の提出状況」

別添 11 の別紙として「事業実施状況報告書の提出状況」も提出して下さい。

〔添付書類等〕

（1）労働負担軽減経営体より提出のあった「実施状況報告書」（別添 10）

※ 労働負担軽減経営体から提出された「実施状況報告書（別添 10、添付資料を含む）」を提出して下さい。

提出書類様式集

目 次

		頁
別添 10（Ⅰの第 3 の 1 の（Ⅰ）関係）	実施状況報告書	4 0
別紙（別添 10 添付用）	補助対象機械装置の詳細（実施状況報告書）	4 1
別添 10－1（Ⅰの第 3 の 1 の（Ⅰ）関係）	対象機械装置の導入報告書	4 2
別添 11（Ⅰの第 3 の 1 の（2）関係）	実施状況報告書	4 3
別紙（別添 11 添付用）	事業実施状況報告書の提出状況	4 4
【畜産 ICT 事業】労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表	リース方式での機械装置を導入した場合	4 5
	購入方式での機械装置を導入した場合	4 6
別添 16（Ⅰの第 4 の 3 の（Ⅰ）関係）	事業完了報告書	4 7
完了報告書おける機械装置の写真用台紙		4 8
別添 17（Ⅰの第 4 の 3 の（2）関係）	支払請求書	4 9
別紙 1（別添 17 添付用）	支払請求書の提出状況	5 0
別紙 2（別添 17 添付用）	事前検証状況	5 1
別添 13（Ⅰの第 3 の 2 関係）	事業成果報告書	5 2
別添 13－別紙 1（Ⅰの第 3 の 2 関係）	成果報告	5 3
別添 13－別紙 2	導入機械装置管理状況報告（購入方式）	5 4
別記様式	財産管理台帳	5 5

別添10（Ⅰの第3の1の（1）関係）

番 号
年 月 日

畜産ICT応援会議代表 殿

所在地
法人名称又は氏名
（法人の場合 代表者名）

令和4年度 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）
実施状況報告書

令和4年度畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）について、持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3畜産第1993号畜産局長通知）別紙11のⅠの第3の1の（1）の規定に基づき、下記のとおりその実施状況を報告する。

記

- 1 導入方式：リース方式（又は購入方式）
- 2 対象機械装置・金額
（注）機械装置名、数量、機械装置価格、消費税、補助金額等を記載する。
- 3 添付資料
 - （1）リース方式の場合
 - ① 貸付対象機械装置に係るリース契約書（写し）及び借受書（写し）
 - ② 対象機械装置の導入報告書（別添10－1）
 - （2）購入方式
 - ① 対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写し）
 - ② 対象機械装置の導入報告書（別添10－1）
 - （3）その他必要な資料

勞働負擔輕減經營名：

※1 参加承認通知のあった機械ごとに採番して下さい。

3 新品は「1」を、中古は「2」を記載する。なお、中古の場合は残存期間が2年以上の場合が対象となる。

4 本体は、参加承認通知のあった機械ごとに、「搾乳ロボット」、「ミルキングパーラー」、「搾乳ユニット搬送レール自動」、「搾乳ユニット搬送レール手動」、「自走式配餌車」、「移動式乳乳機」、「搾わら細粉機」、「養情発見装置」、「分娩監視装置」、「行動監視装置（繁殖管理）」、「行動監視装置（肥育管理）」、「監視装置（放牧管理）」、「バーンスクスレーパー」、「敷料散布機」のいずれかを記載して下さい。

また、付属機器は、「飼養管理システム」、「真空発生装置」、「受乳装置」、「サイレージストッカー」、「サイレージエベーター」、「サイレージコンベア」、「定置式ミキサー」、「吊下レール」等を記載して下さい。

5 新品の場合は残存年数が法定耐用年数となる。中古の場合は法定耐用年数を差し引いた期間を記載する。

7 本体、付属機器に限らず、製造番号のあるものは可能な限り記載して下さい。

なお、発情装置や分娩監視装置の子機など数量が多いものは、別紙で製造番号リストを添付するようにして下さい。

対象機械装置の導入報告書

畜産ICT応援会議名：				
労働負担軽減経営体名		組 織 名：		
		代 表 者 名：		
リース事業者※1		会 社 名：		
対象機械装置の名称				
製造メーカー名				
型 式				
機械装置製造番号				
販売事業者等の名称※2				
対象機械装置の納入年月日				
貸付番号※3				
導入場所				
所見	申請内容と相違ないか			
	カタログどおりか			
	新品であるか			
	試運転の結果どうか			
	業者から取扱説明を受けたか			
備考				

※1 購入方式の場合は、機械装置の販売事業者名を記載。

※2 リース方式の場合はリース会社へ当該機械装置を販売した事業者名を記載、
購入方式の場合は記載しない。

※3 購入方式の場合は、記載しない。

別添11（Ⅰの第3の1の（2）関係）

番 号
年 月 日

公益社団法人中央畜産会
会 長 森 山 裕 殿

（畜産ICT応援会議）
所在地
団体名
代表者の役職及び氏名

令和4年度 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）
事業実施状況報告書

持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3畜産第1993号
畜産局長通知）別紙11のⅠの第3の1の（2）に基づき、事業の実施状況を報告
します。

【添付書類】

- （1）事業実施計画の承認（変更）申請時に添付した計画書に変更箇所を加筆
し、変更前後の内容を反映した計画書
- （2）労働負担軽減経営体より提出のあった、別添10「実施状況報告書」

事業実施状況報告書の提出状況

畜産ICT応援会議名：

経営 体 No ※1	労働負担軽減 経営体名	補助対象機械装置		事業費等		導入 方式 ※3	実施状況報告提出年月日 ※4		
		機械装置名 ※2	数量	事業費 (税抜)	事業費 (税込)		O/O (第○ 回)	O/O (第○ 回)	O/O (第○ 回)
1									
2									
3									
	計								

※1 労働負担軽減経営体ごとに採番する。

※2 参加承認通知のあった機械ごと、「搾乳ロボット」、「ミルキングパーラー」、「ミルキングユニット搬送レール自動」、「搾乳ユニット搬送レール手動」、「ミルク自動離脱装置」、「自動乳頭洗浄機」、「自動給餌機（濃厚飼料）」、「自動給餌機（濃厚・粗飼料）」、「ほ乳ロボット」、「餌寄せロボット」、「自走式配餌車」、「移動式ほ乳機」、「稲わら細断機」、「発情発見装置」、「分娩監視装置」、「行動監視装置（繁殖管理）」、「行動監視装置（肥育管理）」、「行動監視装置（放牧管理）」、「バーンスクレーパー」、「敷料散布機」のいずれかを記載して下さい。

※3 「リース方式」と記載。なお、「購入方式」の場合は「購入方式」と記載

※4 畜産ICT応援会議が経営体の実施状況報告をとりまとめて提出する年月日を表頭に記載し、提出する経営に「○」を付して下さい。

畜産ICT応援会議に提出のあった月日	年	月	日
【畜産ICT事業】 労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表			

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、
提出して下さい。

リース方式での機械装置を導入した場合

No	提出書類				確認欄
1	事業完了報告書			(別添16)	☐
2	添付資料	①貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)			☐
3		②貸付機械装置に係る借受証(写し)			☐
4		③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料(機械装置ごとの銘柄、形式及び台数)	No.8の提出で添付不要		☐
5		④納入当日の撮影した機械装置の全景写真			☐
6		⑤製造番号等の確認が可能な写真			☐
7	実施状況報告書			(別添10)	☐
8	添付資料	別紙 補助対象機械装置の詳細(実施状況報告)		(別添10添付用)	☐
9		①貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)及び借受証(写し)		No.2及びNo.3の提出で添付不要	☐
10		②対象機械装置の導入報告書		(別添10-1)	☐
11	【確認事項】総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか				☐
12	AI・データに関する契約ガイドラインに準拠した契約を行った				☐
	機械装置名		契約日		

必要な資料について、すべて確認表でチェックができましたので、
事業完了報告書・実施状況報告書を提出します。

労働負担軽減経営体名(直筆署名をお願いします。)

畜産ICT応援会議に提出のあった月日

年 月 日

【畜産ICT事業】
労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、
提出して下さい。

購入方式での機械装置を導入した場合

No	提出書類				確認欄
1	事業完了報告書			(別添16)	☐
2	添付資料	①貸付対象機械装置に係る購入契約書(写し)			☐
3		②貸付機械装置に係る納入書、請求証(写し)			☐
4		③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料(機械装置ごとの銘柄、形式及び台数)	No.8の提出で添付不要		☐
5		④納入当日の撮影した機械装置の全景写真			☐
6		⑤製造番号等の確認が可能な写真			☐
7	実施状況報告書			(別添10)	☐
8	添付資料	別紙 補助対象機械装置の詳細(実施状況報告)		(別添10添付用)	☐
9		①貸付対象機械装置に係る購入契約書(写し)		No.2の提出で添付不要	☐
10		②対象機械装置の導入報告書		(別添10-1)	☐
11	【確認事項】 総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか				☐
12	AI・データに関する契約ガイドラインに準拠した契約を行った				☐
	機械装置名		契約日		

必要な資料がすべて準備でき、確認表のチェックが終了しましたので、
事業完了報告書・実施状況報告書を提出します。

労働負担軽減経営体名(直筆署名をお願いします。)

番 号
年 月 日

畜産ICT応援会議代表 殿

所在地
法人名称又は氏名
(法人の場合 代表者名)

令和4年度 畜産経営体生産性向上対策事業推進費補助金
(ICT化等機械装置導入事業) 事業完了報告書

令和4年度において、令和 年 月 日付け 第 号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3畜産第1993号畜産局長通知）別紙11のⅠの第4の3の（1）の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

1 事業の内容

対象機械装置名	数量	事業費	負担区分		備考
			補助金	その他	
計					

2 添付資料

- (1) リース方式により機械装置を導入した場合
- ①貸付対象機械装置に係るリース契約書（写し）
 - ②貸付対象機械装置に係る借受書（写し）
 - ③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、形式及び台数）
 - ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
 - ⑤製造番号等の確認が可能な写真
- (2) 購入方式により機械装置を導入した場合
- ①対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写し）
 - ②対象機械装置に係る購入に係る納入書、請求書（写し）
 - ③対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、型式及び台数）
 - ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
 - ⑤製造番号等の確認が可能な写真

3 その他

(1) 請求額 金 円

- (2) 振込先金融機関名
支店名
預金の種別
口座番号
預金の名義

※リース方式の場合においては、直接リース事業者に支払うことを認める。
その場合、振込先について、リース事業者の指定する振込先を記載する。

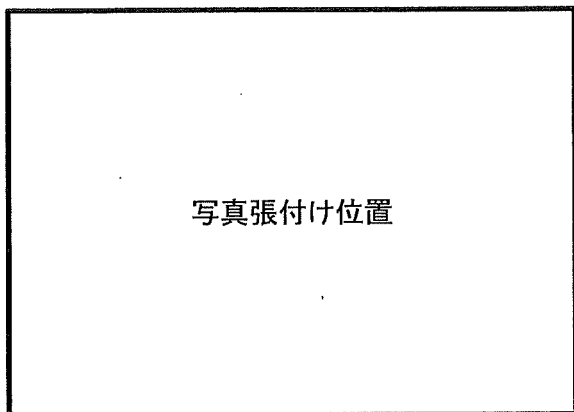
事業名： 令和4年度〇〇〇〇事業(〇〇〇〇)

応援会議名： 〇〇〇〇畜産クラスター協議会

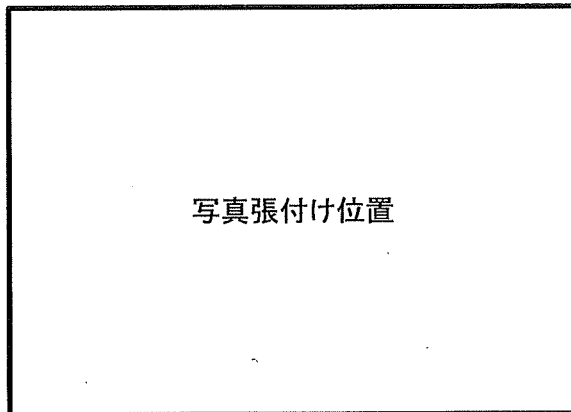
経営体名： 株式会社〇〇〇〇農場

機械装置名： 〇〇〇〇装置(型式:〇〇〇〇 製造番号:〇〇〇〇)

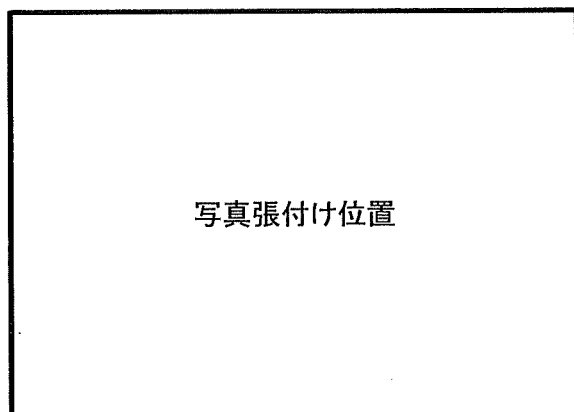
【 】



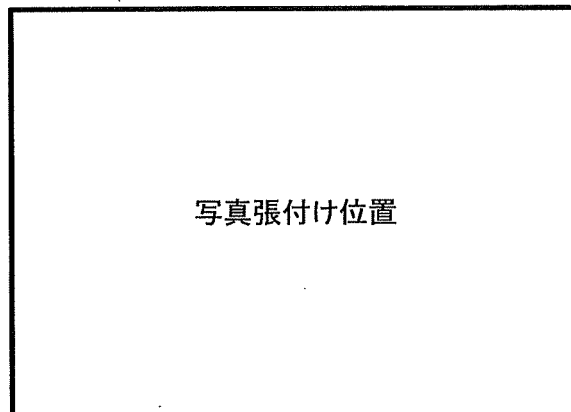
【 】



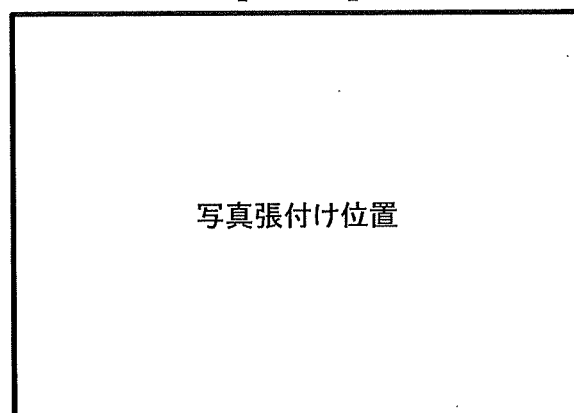
【 】



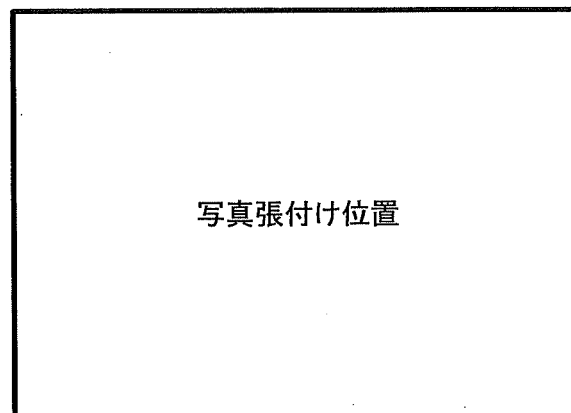
【 】



【 】



【 】



※【 】内は何の写真か記載すること。(本体及び付属機器等の型式・製造番号・規格・数量)

例:【自走式配自車(正面)】、【型式:EF2630 製造番号:100234】、【ネックタグ(50個)】等

別添17（Ⅰの第4の3の（2）関係）

番 号
年 月 日

公益社団法人中央畜産会
会 長 森 山 裕 殿

（畜産ICT応援会議）
所在地
団体名
代表者の役職及び氏名

令和4年度 畜産経営体生産性向上対策事業推進費補助金
（ICT化等機械装置等導入事業）支払請求書

令和4年度において、令和 年 月 日付け 第 号をもって補助金の
交付決定通知のあった事業について、持続的生産強化対策事業実施要領（令和
4年4月1日付け3畜産第1993号畜産局長通知）別紙11のⅠの第4の3の
（2）の規定に基づき、下記のとおり請求する。

記

1 請求額 金 ○○○円

区 分	総事業費	国庫補助金	その他	備考
機械装置導入事業				

2 振込先金融機関名

支店名
預金の種別
口座番号
預金の名義

（注）1 計画承認の事業内容から変更がある場合には、計画承認を受けた計
画書の変更箇所を加筆修正（変更前を上段括弧で二段書）した当該資
料ページを添付して提出すること。

2 前記により、計画承認の事業内容から変更して交付申請書を提出す
る場合は、本文中の「令和○年○月○日付け○第○○号で計画承認が
あった事業計画内容のとおり事業を実施したいので」を「令和○年○
月○日付け○第○○号で計画承認通知があった事業計画の一部を関係
資料のとおり変更し事業を実施したいので」とすること。

3 申請の際には以下の書類を添付すること。なお、事業計画書に添付
したものから変更がない場合は省略することができる。

- （1）外部へ委託する場合は、委託契約書
- （2）その他交付決定者が必要とする書類
- （3）労働負担軽減経営体から申請のあった支払請求書（写し）
- （4）その他事業実施主体が求める書類

別添13（Ⅰの第3の2関係）

番 号
年 月 日

公益社団法人中央畜産会
会 長 森 山 裕 殿

（畜産ICT応援会議）
所在地
団体名
代表者の役職及び氏名

令和 年度 畜産経営体生産性向上対策
（ICT化等機械装置等導入事業）事業成果報告書

令和 年 月 日付け 第 号で交付決定通知のあった畜産経営体生産性向上対策（ICT化等機械装置等導入事業）について、持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3畜産第1993号畜産局長通知）別紙11のⅠの第3の1の規定に基づき別紙（対象となる別紙の番号を記入）の「（元号）年度畜産経営体生産性向上対策（ICT化等機械装置等導入事業）事業成果報告」を別添のとおり報告する。

【添付書類】

- （1）対象機械装置の導入がリース方式の場合
 - ・別添13 - 別紙1
- （2）対象機械装置の導入が購入方式の場合
 - ・別添13 - 別紙1
 - ・別添13 - 別紙2

財産管理台帳

団体名	事業実施年度	事業名	畜産経営体生産性向上対策（ICT化等機械装置等導入事業）				事業量	事業の内容			着工年 月日	竣工年 月日	総事業費	経費の配分				耐用 年数	処分制限期間		処分の状況		摘要	
			事業種目	対象者名	工種構造 設置区分	施工箇所 又は設置 場所		国庫補助金	都道府 県費	負担区分 市町村 費				その他	処分制限 年月日	処分年 月日	処分の 内容							
		計																						
		計																						
		計																						
		合計																						

- (注) 1 「処分制限年月日欄」には、処分制限の終期を記入する。
 2 「処分の内容欄」には、譲渡、交換、貸付け、担保提供等を記入する。
 3 「摘要欄」には、譲渡先、交換先、貸し付け先及び抵当権等の設定権者の名称又は補助金返還額を記入。
 4 この書式により難しい場合には、「処分制限期間欄」及び「処分の状況欄」を含む他の書式をもって財産管理台帳に代えることができる。

記載例について

目 次

		頁
【畜産 ICT 事業】労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表	リース方式での機械装置を導入した場合	58
別添 16（Ⅰの第4の3の（Ⅰ）関係）	事業完了報告書	60
別添 17（Ⅰの第4の3の（2）関係）	支払請求書	62
別紙 1（別添 17 添付用）	支払請求書の提出状況	64
別紙 2（別添 17 添付用）	事前検証状況	66
別添 10（Ⅰの第3の1の（Ⅰ）関係）	実施状況報告書	68
別紙（別添 10 添付用）	補助対象機械装置の詳細（実施状況報告書）	70
別添 10－1（Ⅰの第3の1の（Ⅰ）関係）	対象機械装置の導入報告書	72
別添 11（Ⅰの第3の1の（2）関係）	実施状況報告書	74
別紙（別添 11 添付用）	事業実施状況報告書の提出状況	76
別添 13（Ⅰの第3の2 関係）	事業成果報告書	78
別添 13－別紙 1（Ⅰの第3の2 関係）	成果報告	79
別添 13－別紙 2	導入機械装置管理状況報告（購入方式）	81

畜産ICT応援会議に提出のあった月日	年 月 日
労働負担軽減経営体	書類 確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、提出して下さい。

No	事業内容	確認欄	確認欄
1	事業完了	(別添16)	☐
2	①1	(写し)	☐
3	②1		☐
4	③1	No.8の提出で添付不要	☐
5	④1	写真	☐
6	⑤1		☐
7	実施状況	(別添10)	☐
8	別添状況報告書	(別添10添付用)	☐
9	①1 (写)	No.2及びNo.3の提出で添付不要	☐
10	②1	(別添10-1)	☐
11	【確認事項】総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか		☐
12	AI-データに関する契約ガイドラインに準拠した契約を行った	機械装置名	契約日

必要 経営体の申請者が自ら必ず署名して下さい

確認表でチェックができましたので、状況報告書を提出します。

労働負担軽減経営体名(直筆署名をお願いします。)

畜産ICT事業に提出した月日

R 5 年 1 月 10 日

記入例

【畜産ICT事業】

労働負担軽減経営体の事業完了報告書提出書類 確認表

提出書類が準備できたら、チェック欄にすべて必要な確認ができた時点で、
提出して下さい。

リース方式での機械装置を導入した場合

No	提出書類			確認欄
1	事業完了報告書		(別添16)	☒
2	添付資料	①貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)		☒
3		②貸付機械装置に係る借受証(写し)		☒
4		③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料(機械装置ごとの銘柄、形式及び台数)	No.8の提出で添付不要	☒
5		④納入当日の撮影した機械装置の全景写真		☒
6		⑤製造番号等の確認が可能な写真		☒
7	実施状況報告書		(別添10)	☒
8	添付資料	別紙 補助対象機械装置の詳細(実施状況報告)	(別添10添付用)	☒
9		①貸付対象機械装置に係るリース契約書(写し)及び借受証(写し)	No.2及びNo.3の提出で添付不要	☒
10		②対象機械装置の導入報告書	(別添10-1)	☒
11	【確認事項】総労働時間の事前計測を行い、事前検証の結果を報告しましたか			☒
12	AI・データに関する契約ガイドラインに準拠した契約を行った			☒
	機械装置名		契約日	

必要な資料について、すべて確認表でチェックができましたので、
事業完了報告書・実施状況報告書を提出します。

労働負担軽減経営体名(直筆署名をお願いします。)

中畜 太郎

経営体提出物1：事業完了報告書関係

《提出期限》

導入完了後、速やかに提出

* 最終期限：令和5年3月15日

【中央畜産会必着】

別添16（Ⅰの第4の3の（1）関係）

所属する畜産ICT応援会議の
名称、代表者の役職・氏名を
記載

番 号
年 月 日

畜産ICT応援会議代表 殿

別添9ー別紙1「参加申請書（リース方式）」
又は別添8ー別紙1「参加申請書（購入方
式）」の記載と同じとすること

所在地
法人名称又は氏名
（法人の場合 代表者名）

令和4年度 畜産経営体生産性向上対策事業推進費補助金

（ICT化）

中央畜産会から畜産ICT応援会議に対する補助金の交付決定通
知の年月日及び文書番号を記載
※補助金の変更や追加交付決定を受けている場合は、原則、併
記して下さい

令和4年度において、令和4年9月1日付け4年度発中畜第1213号をもって
補助金の交付決定通知のあった事業について、持続的生産強化対策事業実施要
領（令和4年4月1日付け3畜産第1993号畜産局長通知）別紙11のⅠの第4
の

参加承認通知のあった機械
装置ごとに記入。
複数の機械装置の場合は計

記

事業費：税込の事業費を記入
補助金：参加承認通知のあった補助金額
その他：事業費－補助金

対象機械装置名	数量	事業費	負担区分		備考
			補助金	その他	
計					

2 添付資料

（1）リース方式により機械装置を導入した場合

- ①貸付対象機械装置に係るリース契約書（写し）
- ②貸付対象機械装置に係る借受書（写し）
- ③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、形式及び台数）
- ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
- ⑤製造番号等の確認が可能な写真

添付資
料①～
③は、
「実施
状況報
告書」
の同時
提出で

確実に
提出し
てくださ
い

（2）購入方式により機械装置を導入した場合

- ①対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写し）
- ②対象機械装置に係る購入に係る納入書、請求書（写し）
- ③対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、形式及び台数）
- ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
- ⑤製造番号等の確認が可能な写真

3 その他

（1）請求額 金

（2）振込先金融機関名
支店名
預金の種別
口座番号
預金の名義

- 労働負担軽減経営体が畜産ICT応援会議から交付金を受領する口座を記入。
- リース方式の場合、直接リース事業者に支払いを希望する場合は、リース事業者の指定する口座を記載。
- 経営体に直接支払う場合は、「参加申請書」（別添9ー別紙1、別添8ー別紙1）に記載した経営主名（法人経営の場合は、法人名又は代表者名）と同じ口座を記載すること。

※リース方式の場合においては、直接リース事業者に支払うことを認める。
その場合、振込先について、リース事業者の指定する振込先を記載する。

別添16（Ⅰの第4の3の（1）関係）

記入例

明神発第3335-①号
令和4年12月22日

明神楽酪応援会議
楽酪 天神 殿

埼玉県埼玉郡さきたま町搾111
酪 農 一

令和4年度 畜産経営体生産性向上対策事業推進費補助金
(ICT化等機械装置導入事業) 事業完了報告書

令和4年度において、令和4年8月31日付け4年度発中畜第1111号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3畜産第1993号畜産局長通知）別紙11のⅠの第4の3の（1）の規定に基づき、下記のとおり報告する。

記

1 事業の内容

対象機械装置名	数量	事業費	負担区分		備考
			補助金	その他	
ほ乳ロボット	1	5,500,000	2,500,000	3,000,000	
計		5,500,000	2,500,000	3,000,000	

2 添付資料

- (1) リース方式により機械装置を導入した場合
- ①貸付対象機械装置に係るリース契約書（写し）
 - ②貸付対象機械装置に係る借受書（写し）
 - ③貸付対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、形式及び台数）
 - ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
 - ⑤製造番号等の確認が可能な写真
- (2) 購入方式により機械装置を導入した場合
- ①対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写し）
 - ②対象機械装置に係る購入に係る納入書、請求書（写し）
 - ③対象機械装置の詳細が分かる資料（機械装置ごとの銘柄、形式及び台数）
 - ④納入当日に撮影した機械装置の全景写真
 - ⑤製造番号等の確認が可能な写真

3 その他

- (1) 請求額 金 2,500,000 円
- (2) 振込先金融機関名 さきたま銀行
支店名 搾支店
預金の種別 普通
口座番号 99999999
預金の名義 カ) サクニューシエンリース

楽酪応援会議提出物 1：支払請求書関係

別添17（Iの第4の3の（2）関係）

《提出期限》

導入完了後、速やかに提出

* 最終期限：会議の指定する日

（令和5年3月15日までの間）

号
月 日

公益社団法人中央畜産会
会長 ○ ○ ○ 殿

（畜産ICT応援会議）
所在地

中央畜産会から楽酪応援会議に対する補助金の交付決定通知の
年月日及び文書番号を記載

令和4年度 畜産
（ICT化）

※補助金の変更や追加交付決定を受けている場合は、原則、併記
する

令和4年度において、令和4年○月○日付け○第○号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付3畜産第1993号畜産局長通知）別紙11のIの第4の3の（2）の記、
下記のとおり請求する。

記

1 請求額

金 ○○○円

※今回請求
分で金額を
あわせる

※総事業費
は、「税込価
格」

区 分	総事業費	国庫補助金	その他	備考
機械装置導入事業				
計				

2 振込先金融機関名

支店名

預金の種別

口座番号

預金の名義

別紙のとおり

別紙のとおり

別紙のとおり

別紙のとおり

別紙のとおり

別紙1（別添17添付用）「支払請求書の提出状況」を作成し、添付して下さい

（注）1 計画承認の事業内容から変更がある場合には、計画承認を受けた計画書の変更箇所を加筆修正（変更前を上段括弧で二段書）した当該資料ページを添付して提出すること。

2 前記により、計画承認の事業内容から変更して交付申請書を提出する場合は、本文中の「（元号）○年○月○日付け○第○号」を「（元号）○年○月○日付け○第○号（計画承認があった事業計画内）」とすること。

別紙2（別添17添付用）「事前検証状況」を作成し、添付して下さい

3 申請の際には以下の書類を添付すること。なお、事業計画書に添付したものから変更がない場合は省略することができる。

（1）外部へ委託する場合は、委託契約書

（2）その他交付決定者が必要とする書類

（3）労働負担軽減経営体から申請のあった完了報告書（写し）

（4）その他事業実施主体が求める書類

今回請求分を
添付

※労働負担軽減経営体ごとに複数回に分けて提出することも可能とします。

ただし、別紙「支払請求書の提出状況」で、請求回次ごとの内容を整理し、提出していただきます。

記入例

明神発第3335号
令和4年12月31日

公益社団法人中央畜産会
会 長 森 山 裕 殿

（畜産ICT応援会議）
埼玉県埼玉郡天神町明神 5
明神楽酪応援会議
楽 酪 天 神 殿

令和4年度 畜産経営体生産性向上対策事業推進費補助金
（ICT化等機械装置導入事業）支払請求書

令和4年度において、令和4年8月31日付け4年度発中畜第1111号をもって補助金の交付決定通知のあった事業について、持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3畜産第1993号畜産局長通知）別紙11のⅠの第4の3の（2）の規定に基づき、下記のとおり請求する。

記

1 請求額 金 2,500,000円

区 分	総事業費	国庫補助金	その他	備考
機械装置導入事業	5,500,000	2,500,000	3,000,000	
計	5,500,000	2,500,000	3,000,000	

2 振込先金融機関名 別紙のとおり
支店名 別紙のとおり
預金の種別 別紙のとおり
口座番号 別紙のとおり
預金の名義 別紙のとおり

支払請求書の提出状況

※別添17に本紙を添付して提出して下さい。

畜産ICT応援会議名：

○ 交付決定

区分	総事業費	国庫補助金	既請求分		今回請求分		残額	
			総事業費	国庫補助金	総事業費	国庫補助金	総事業費	国庫補助金
機械装置導入事業								
計								

参加承認通知された労働負担軽減経営体名を記載

○ 機械装置導入事業の請求内訳

経営 体 №1	労働負担 軽減経営 体名	補助対象機械装置		事業費等	導入 方式 ※3	支払先 ※4	振込先				支払請求書提出対象区分 ※5					
		機械装置名 ※2	数量				事業費 (税込)	補助金額	金融機関名	支店名	預金の 種別	口座番号	預金の名義	既 請求分 対象者	今 請求分 対象者	回 残 額 対象者
1																
2																
3																
				0												
	計															

- ※ 1 労働負担軽減経営体ごとに採番する。
- ※ 2 様式第 1 号、第 2-1 で記載した区分ごとに記載することとし、「搾乳ロボット」、「ミルクングパーラー」、「ミルキングロボット」、「搾乳ユニット搬送レール自動」、「搾乳ユニット搬送レール手動」、「ミルク自動給餌機（濃厚飼料）」、「自動給餌機（濃厚・粗飼料）」、「ほ乳ロボット」、「餌寄せロボット」、「餌寄せロボット」、「自走式配餌車」、「移動式ほ乳機」、「稲わら細断機」、「発情発見装置」、「分娩監視装置」、「行動監視装置（繁殖管理）」、「行動監視装置（肥育管理）」、「行動監視装置（放牧管理）」、「バーンスクレーパー」、「敷料散布機」のいずれかを記載して下さい。
- ※ 3 「リース方式」と記載。なお、「購入方式」の場合は「購入方式」と記載
- ※ 4 経営体からの支払請求書に記載された振込口座が経営体の口座の場合は「畜産ICT応援会議」、同じく契約したリース事業者の口座の場合は「リース事業者」と記載し、右にその口座名を記入する。
- ※ 5 畜産ICT応援会議が経営体の支払請求書を取りまとめて提出したする年月日を表頭に記載し、提出する経営に「○」を付して下さい。

支払請求書の提出状況

畜産ICT応援会議名：明神楽酪応援会議

○交付決定

区分	総事業費	国庫補助金	既請求分		今回請求分		残額	
			総事業費	国庫補助金	総事業費	国庫補助金	総事業費	国庫補助金
機械装置導入事業	62,700,000	28,500,000	5,500,000	2,500,000	57,200,000	26,000,000	0	0

○機械装置導入事業の請求内訳

経営体 No ※1	労働負担 軽減経営 体名	補助対象機械装置		事業費等		導入 方式 ※4	支払先 ※5	振込先					支払請求書提出対象区分 ※6		
		機械装置名 ※3	数量	事業費 (税込)	補助金額			金融機関名	支店名	預金の 種別	口座番号	預金の 名義	既 請求分 対象者	今 回 請求分 対象者	残 額 対象者
1	中畜 太郎	搾乳ロボット	1	27,500,000	12,500,000	リース	リース 事業者	あかさ銀行	あかさ本店	普通	1234567	7カブリース		○	
		ほ乳ロボット	1	3,300,000	1,500,000			あかさ銀行	あかさ本店	普通	1234567	7カブリース		○	
2	酪農 一	ほ乳ロボット	1	5,500,000	2,500,000	リース	リース 事業者	さきたま銀行	搾支店	普通	99999999	カ) サクニウシエン リース	○		
3	天神 三郎	搾乳ユニット搬送レール 自動	1	15,400,000	7,000,000			あかさ銀行	あかさ本店	普通	1234567	7カブリース		○	
		自動給餌機	1	11,000,000	5,000,000	リース	リース 事業者	さきたま銀行	搾支店	普通	99999999	カ) サクニウシエン リース		○	
	計			62,700,000	28,500,000										

事前検証状況

注2に基づき記入

事業参加承認通知された労働負担軽減経営体を記載
※実施計画における成果目標の設定で、他の構成員も
含めた目標を設定している場合は、その構成員も記載

畜産ICT応援会議名：

年間総労働時間
÷ 365日

「労働負担軽減事業における成果検証の考え方について」に基づき、事前計測を行った結果を記入し、提出していただきます。

参加承認通知された補助対象機械装置ごとに記載

※左欄で労働負担軽減経営体以外の構成員を記載している場合は、当該欄の記載は不要

備考欄には、労働負担軽減経営体の支払請求状況を記入すること。

会議計欄の記入をして下さい。

畜産ICT応援会議全体とされ

(注1) 成果目標において、労働時間削減の対象が労働負担軽減経営を行っている場合は全構成員を記入する。

(注2) 労働者数については、フルタイム労働者を1とし、パートタイム等については勤務時間の長さによって0～1の間の小数（第1位まで）を記入する。

労働時間は、導入した機械に係る分野の労働だけではなく、飼料生産等も含めた酪農に関する全ての労働にかかる時間を記入する。(注3)

$$1 \text{ 日あたりの総労働時間前削減率} = 1 - \frac{(\text{機械導入後の1日あたり総労働時間} \div \text{機械導入前の1日あたり総労働時間})}{1}$$

(注4)

(注5) 畜産ICT応援会議の中で、労働負担軽減経営体ごとに支払請求書が提出される場合には、備考欄に、労働負担軽減経営体の支払請求状況(今回請求分・既請求済分)を記入して下さい。

事前検証状況

畜産ICT応援会議名： 明神楽心広げ会議

[illegible]

経営体提出物2：実施状況報告書関係

《提出期限》

導入完了後、速やかに提出

* 最終期限：会議の指定する日（令和5年3月15日までの間）

別添10（Iの第3の1）

所属する畜産ICT応援会議の名称、代表者の役職・氏名を記載

畜産ICT応援会議代表 殿

番号
年 月 日

「参加申請書（リース方式）」又は「参加申請書（購入方式）」の記載と同じとすること

所在地
法人名称又は氏名
（法人の場合 代表者名）

令和4年度畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置導入事業）
実施状況報告書

令和4年度畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置導入事業）について、持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3畜産第1993号畜産局長通知）別紙11のIの第3の1の（1）の規定に基づき、下記のとおりその実施状況を報告

記

1 導入方式：リース方式（又は購入方式）

リース方式の場合は「リース方式」、
購入方式の場合は「購入方式」
と記載して下さい

2 対象機械装置・金額

別紙のとおり

「別紙のとおり」と記載の上、別紙（別添10添付用）「補助対象機械装置の詳細（実施状況報告）」を作成し、添付して下さい

3 添付資料

（1）リース方式の場合

- ① 貸付対象機械装置に係るリース契約書（写し）及び借受書（写し）
- ② 対象機械装置の導入報告書（別添10-1）

（2）購入方式

- ① 対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写し）
- ② 対象機械装置の導入報告書（別添10-1）

（3）その他必要な資料

別添10（Ⅰの第3の1の（1）関係）

記入例

明神発第3334-①号
令和4年12月22日

明神楽酪応援会議
楽酪 天神 殿

埼玉県埼玉郡さきたま町搾111
酪 農 一

令和4年度 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置導入事業）
実施状況報告書

令和4年度畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置導入事業）について、
持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3畜産第1993号畜産局長
通知）別紙11のⅠの第3の1の（1）の規定に基づき、下記のとおりその実施状況を報
告する。

記

- 1 導入方式：リース方式
- 2 対象機械装置・金額

別紙のとおり

- 3 添付資料
 - （1）リース方式の場合
 - ① 貸付対象機械装置に係るリース契約書（写し）及び借受書（写し）
 - ② 対象機械装置の導入報告書（別添10－1）
 - （2）購入方式
 - ① 対象機械装置に係る購入に係る購入契約書（写し）
 - ② 対象機械装置の導入報告書（別添10－1）
 - （3）その他必要な資料

補助対象機械装置の詳細(実施状況報告)

※別添10に本紙を添付して提出して下さい。

畜産ICT応援会議名:

労働負担軽減経営体名:

本体、及び製造番号のある付属機器別に記載

No ※1	本体・付 属機器別 区分 ※2	新品・中古 の区分 ※3	機械装置の種類 ※4	法定耐用 年数 ※5	型式 ※6	製造番号 ※8	販売業者名	数量	機械価格 (税抜)	機械価格 (税込)	補助金額
1											
	小計										
2											
	小計										

・複数台導入の場合は、「,」でつないで併記する。
・発情発見装置や分娩監視装置の子機など数量が多いものは、別紙で製造番号リストを添付するようにして下さい。

※1 参加承認通知のあった機械ごとに採番して下さい。

2 「本体」または「付属機器」かを記載

3 新品は「1」を、中古は「2」を記載する。なお、中古の場合は残存期間が2年以上の場合が対象となる。

4 本体は、参加承認通知のあった機械ごとに、「搾乳ロボット」、「ミルクングバレー」、「搾乳ユニット搬送レール自動」、「搾乳ユニット搬送レール手動」、「ミルク自動離脱装置」、「自動乳頭洗浄機」、「自動給餌機(濃厚飼料)」、「自動給餌機(濃厚飼料)」、「ほ乳ロボット」、「餌容せロボット」、「自走式配餌車」、「移動式ほ乳機」、「稲わら細断機」、「発情発見装置」、「分娩監視装置」、「行動監視装置(繁殖管理)」、「行動監視装置(放牧管理)」、「バーンスクレーパー」、「敷料散布機」のいずれかを記載して下さい。
また、付属機器は、「飼養管理システム」、「真空発生装置」、「受乳装置」、「フィードステーション」、「サイレージストッカー」、「サイレージエレベーター」、「サイレージコンベア」、「定置式ミキサー」、「吊下レール」等を記載して下さい。

5 新品の場合は残存年数が法定耐用年数となる。中古の場合は法定耐用年数から経過年数を差し引いた期間を記載する。

6 規格・規模は、型式等を記入。

7 本体、付属機器に限らず、製造番号のあるものは可能な限り記載して下さい。

なお、発情発見装置や分娩監視装置の子機など数量が多いものは、別紙で製造番号リストを添付するようにして下さい。

記入例

補助対象機械装置の詳細(実施状況報告)

CT応援会議名:

明神楽酪応援会議

(注意)

完了報告書の添付された写真と確認します。

軽減经营主体名:

天神 三郎

N. No. ※1	本体・付 属機器別 区分 ※3	新品・ 中古の 区分 ※4	機械装置の種類 ※5	法定 耐用 年数 ※6	型式 ※7	製造番号 ※8	販売業者名	数量	機械価格 (税抜)	機械価格 (税込)	補助金額
1	本体	1	搾乳ユニット搬送レール自動搬送	7	UCA30A	99589	中部オリオン(株)	1	6,000,000		
	付属機器	1	乳量計付自動離脱装置	7	MMD500	56-5481, 56-5482, 56-5483, 56-5484, 56-5485, 56-5486, 56-5487, 56-5488,	中部オリオン(株)	8	4,000,000	15,400,000	7,000,000
	付属機器	1	パイプラインミルカー	7	PMH64SJ	P656345	中部オリオン(株)	1	4,000,000		
	小計								14,000,000		
2	本体	1	自動給餌機	7	FMA16	556645545	(株)チュウチク	1	8,000,000		
	付属機器	1	サイレーンジエレベーター	7	FC95	55-55-HH	(株)チュウチク	1	500,000		
	付属機器	1	定置式ミキサー	7	5150ST	545454	(株)チュウチク	1	1,500,000	11,000,000	5,000,000
	小計								10,000,000		

別添10-1 (Iの第3の1の(1)関係)

対象機械装置の導入報告書

畜産ICT応援会議名:		所属する畜産ICT応援会議の正式名称を記載。	
労働負担軽減経営体名	組織名:	法人経営の場合、法人名(参加申請法人名)を記入	
	代表者名:	個人経営の場合:経営主(参加申請者名)を記入 法人経営の場合:代表者名を記入	
リース事業者※1	会社名:	リース会社名	
対象機械装置の名称		参加申請書 (別添9号一別紙1) 又は別添8号一別紙1) と同じ内容	
製造メーカー名			
型 式			
機械装置製造番号			
販売事業者等の名称※2			
対象機械装置の納入年月日		リース物件は、借受書の検査完了日(リース開始日)、又は検収日を記入	
貸付番号※3		機械装置の「契約番号」、「協会の標示(リース番号)」、又は「貸付記号」を記入	
導入場所			
所見	申請内容と相違ないか		
	カタログどおりか		
	新品であるか		
	試運転の結果どうか		
	業者から取扱説明を受けたか		
備考			

※1 購入方式の場合は、機械装置の販売事業者名を記載。

※2 リース方式の場合はリース会社へ当該機械装置を販売した事業者名を記載、

購入方式の場合は記載しない。

※3 購入方式の場合は、記載しない。

参加承認通知のあった機械装置の種類ごとに入力

- ・搾乳ロボット
- ・搾乳ユニット搬送レール自動
- ・ミルクカー自動離脱装置
- ・「自動給餌機(濃厚飼料)」
- ・「ほ乳ロボット」
- ・「自走式配餌車」
- ・「稲わら細断機」
- ・「分娩監視装置」
- ・「行動監視装置(肥育管理)」
- ・バンスクレーパー
- ・ミルクングパーラー
- ・搾乳ユニット搬送レール手動
- ・自動乳頭洗浄機
- ・「自動給餌機(濃厚・粗飼料)」
- ・「餌寄せロボット」
- ・「移動式ほ乳機」
- ・「発情発見装置」
- ・「行動監視装置(繁殖管理)」
- ・「行動監視装置(放牧管理)」
- ・敷料散布機

併せて、別紙(別添10添付用)「補助対象機械装置の詳細(実施状況報告)」を作成し、添付して下さい
(見積書で付属機器も補助対象としている場合は、別紙で整理していただくことになります)

対象機械装置の導入報告書

畜産ICT応援会議名：明神楽酪応援会議				
労働負担軽減経営体名		組 織 名：		
		代表者名：天神 三郎		
リース事業者※1		会 社 名：〇△リース株式会社		
対象機械装置の名称		搾乳ユニット搬送 レール自動搬送	自動給餌機	
製造メーカー名		オリオン機械(株)	オリオン機械(株)	
型 式		UCA30A	FMA16	
機械装置製造番号		99589	556645545	
販売事業者等の名称※2		中部オリオン(株)	(株)チュウチク	
対象機械装置の納入年月日		令和4年12月5日	令和4年12月5日	
貸付番号※3		〇△H55-55	〇△H55-56	
導入場所		〇県●●町●松55	〇県●●町●松55	
所見	申請内容と相違ないか	相異なし	相異なし	
	カタログどおりか	カタログどおり	カタログどおり	
	新品であるか	新品	新品	
	試運転の結果どうか	良好	良好	
	業者から取扱説明を受けた	受けた	受けた	
備考				

畜産ICT応援会議提出物2：事業実施状況報告書関係

別添11（Iの第3の1の（2）関係）

《提出期限》
導入完了後、速やかに提出
* 最終期限：令和5年3月15日
【中央畜産会必着】

審 号
年 月 日

公益社団法人中央畜産会
会 長 森 山 裕 殿

（畜産ICT応援会議）

所在地

団体名

代表者の役職及び氏名

令和4年度 畜産経営体生産性向上対策事業
（ICT化等機械装置導入事業）事業実施状況報告書

持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3畜産第1993号畜産局長通知）別紙11のIの第3の1の（2）に基づき、事業の実施状況を報告します。

【添付書類】

- （1）事業実施計画の承認（変更）申請時に添付した計画書に変更箇所を加筆し、変更前後の内容を反映した計画書
- （2）労働負担軽減経営体より提出のあった、別添14「実施状況報告書」

※労働負担軽減経営体ごとに複数回に分けて提出することも可能とします。

この場合、請求回次ごとの内容を整理した別紙「実施状況報告の提出状況」を添付していただきます。

別添11（Ⅰの第3の1の（2）関係）

記入例

明神発第3334号
令和4年12月31日

公益社団法人中央畜産会
会 長 森 山 裕 殿

（畜産ICT応援会議）
埼玉県埼玉郡天神町明神5
明神楽酪応援会議
楽 酪 天 神

令和4年度 畜産経営体生産性向上対策事業
（ICT化等機械装置導入事業）事業実施状況報告書

持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3畜産第1993号畜産局長通知）別紙11のⅠの第3の1の（2）に基づき、事業の実施状況を報告します。

【添付書類】

- （1）事業実施計画の承認（変更）申請時に添付した計画書に変更箇所を加筆し、変更前後の内容を反映した計画書
- （2）労働負担軽減経営体より提出のあった、別添14「実施状況報告書」

事業実施状況報告書の提出状況

記入例

畜産ICT応援会議名：明神楽酪応援会議

経営体 No ※1	労働負担 軽減 経営体名	補助対象機械装置		機械装置価格、補助金額等			導入 方式 ※3	実施状況報告提出年月日 ※4		
		機械装置名 ※2	数量	機械価格 (税抜)	機械価格 (税込)	補助金額 (A×1/2以内)		11/30 (第1 回)	2/15 (第2 回)	O/O (第○ 回)
1	中畜 太郎	搾乳ロボット	1	25,000,000	27,500,000	12,500,000	リース		○	
		ほ乳ロボット	1	3,000,000	3,300,000	1,500,000				
2	酪農 一	ほ乳ロボット	2	5,000,000	5,500,000	2,500,000	リース	○		
3	天神 三郎	搾乳ユニット搬送レール自動	1	14,000,000	15,400,000	7,000,000	リース		○	
		自動給餌機	1	10,000,000	11,000,000	5,000,000				
	計			57,000,000	62,700,000	28,500,000				

別添13（Ⅰの第3の2関係）

番 号
年 月 日

中央畜産会の長 殿

楽酪応援会議が、事業実施時の楽酪応援会議の名称が変更のあった場合は、団体名を二段書きとし、上段に現在の団体名を、下段に括弧書きで記入して下さい。所在地及び代表者の役職及び氏名は現在の団体のものを記入して下さい。

（畜産ICT畜産ICT応援会議）

所在地

団体名

代表者の役職及び氏名

令和 年度 畜産経営体生産性向上対策
（ICT化等機械装置等導入事業）事業成果報告書

令和〇年〇月〇日付け〇第〇号で交付決定通知のあった畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）について、持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3畜産第1993号畜産局長通知）別紙11の1の第3の1の規定に基づき別紙（対象となる別紙の番号を記入）の「令和〇〇年度畜産経営体生産性向上対策（ICT化等機械装置等導入事業）事業成果報告」を別添のとおり報告します。

添付書類が、
リース方式により導入した場合は、別紙(1)、
購入方式により導入した場合は、別紙1及び別紙2、
と記入して下さい。

【添付書類】

（1）対象機械装置の導入がリース方式の場合

- ・別添13 - 別紙1

（2）対象機械装置の導入が購入方式の場合

- ・別添13 - 別紙1
- ・別添13 - 別紙2

令和〇年度畜産經營體生產性向上対策（ICT化等機械裝置等導入事業）事業成果報告

畜産ICT応援会議名：
明神楽酪応援会議

[illegible]

令和〇〇年度畜産經營體生產性向上對策事業（ICT化等機械裝置等導入事業）導入機械裝置管理狀況報告（購入方式）

別紙1の成果報告の労働負担軽減経営体が購入方式により機械装置の導入を行っている
 た場合はこの導入管理状況報告を記入し提出してください。

[illegible]

※1 財産管理台帳から必要事項を記載。
※2 管理状況は、畜産ICT畜産ICT応援会議が確認した直近の状況を記載。

(参考5)

ICT 化等機械装置等導入事業における成果検証の考え方について

本事業における成果目標の設定に当たっては、全国的に統一的な手法として、「削減が期待される年間労働時間の考え方」により試算された各労働負担軽減経営体の削減労働時間を使用し、応援会議全体として削減目標を作成していただいております。

なお、応援会議は、労働時間の削減率（10%以上低減）を目標設定することとされています。

一方、成果報告に当たっては、実際の削減効果を測る必要があることから、実施計画に記載された経営体の実態を個別に検証する必要があります。

1 検証の対象

本事業では、削減効果を確認するため、労働負担軽減経営体における事業実施前後の労働時間（1人あたりの年間労働時間）を検証していただきます。

なお、検証は労働負担軽減経営体における総労働時間となります。

2 検証にあたっての留意点

(1) 検証方法

① 具体的な労働時間の測定方法については、各応援会議において任意としますが、以下のような方法が考えられます。

○ 作業日誌等を用いた労働負担軽減経営体自身の記録記帳に基づく検証

○ 多数の従業員が、分業制、シフト勤務制、定時の休憩時間制などにより勤務している場合に、タイムカード等の勤怠管理資料による検証

○ 地域の支援機関、外部コンサルタントなど活用した第三者による調査

② 検証方法は①に限るものではありませんが、第三者に対し、測定方法の客観性や妥当性が説明できる方法としてください。また、どのような検証を行う場合においても、各応援会議内において、原則、統一的な検証方法として下さい。

(2) 検証時期・期間

① 検証時期（機械装置導入後の労働時間の測定時期）は各応援会議における任意としますが、業実施前後の比較が可能なよう、機械装置導入前の測定時期と翌年同時期に行ってください。

② 測定期間は、導入する機械装置の種類・機能、さらには飼養頭数などを考慮し設定することとし、一定期間（1週間以上）、作業日誌等を記録してください。

また、分娩監視装置や発情発見装置の効果検証は、1週間の記録では不十分な場合もあるため、監視対象となる牛が複数頭現れる期間の労働時間を継続して測定する、又は、1頭当たりの監視に要する時間を計測し、年間の監視時間を推定する等により、装置の導入効果を検証してください。

(3) 検証記録の保管

成果の検証に用いた作業日誌等資料については、応援会議において保管して下さい。

なお、保管期間は、「帳簿等の整備保管等」において示されている期間と同期間保管して下さい。

3 (参考) 作業日誌を用いた検証方法の例

以下に、労働負担軽減経営体自身の記録記帳に基づく調査方法の例を示します。
(なお、あくまでもこの調査方法は例示であり、実際の調査方法についてはこの限りではありません)

方法1 作業日誌(日報方式)を活用した検証方法の例

(1) 概要

あらかじめ連続した測定期間(○日間)を決め、1日当たり1枚の作業日誌(日報方式)に記録記帳。測定した日数(記録記帳した日誌の枚数)分の労働時間から1日当たり標準労働時間を算出し、年間総労働時間を推定する。

(2) 様式例

作業日誌A(日報方式: 例)

(3) 作業日誌の記録方法【様式例: 作業日誌A(日報方式)】

- ① 経営体名、測定期間(○月○日～○月○日)、従事者名等を入力
- ② ①について、測定日数分の枚数をコピー。
- ③ 測定日ごとに、作業内容毎に労働時間帯を記録(網掛け)し、1日当たりの作業時間を記入。
- ④ 1日の終了時に、1日当たり労働時間の計を算出。

(4) 年間労働時間の推定

- ① 測定期間の労働時間＝記録記帳した作業日誌(日報方式)の労働時間の和
- ② 1日当たり標準労働時間＝①÷測定日数(日報の枚数)
- ③ 年間総労働時間＝②×365日

方法2 作業日誌(月報方式)を活用した検証方法の例

(1) 概要

あらかじめ検証月を決め、作業区分ごとに測定した日のみ作業時間を記録記帳。
これを基に1日当たり標準労働時間を算出し、年間総労働時間を推定する。

(2) 様式例

作業日誌B(月報方式: 例)

(3) 作業日誌の記録方法

- ① 測定年月(○年○月)、作業区分毎の従事者名を入力。
- ② 作業区分毎に測定日を決め、その測定日に作業区分かつ作業者の時間を入力。
- ③ 集計欄を用いて、1日当たり標準労働時間を計算。

(4) 年間労働時間の推定

年間総労働時間

＝作業日報(月報方式)に基づく1日当たり標準労働時間×365日

4 事業成果報告の提出

実施要領別紙11の第3の2の(1)に基づき、応援会議は、事業実施翌年度に検証した結果を、別添13の事業実施報告書により、事業実施の翌々年度の6月末までに、事業実施主体に報告することとなっています。

具体的には、事業実施年度の支払請求書に添付書類別紙2(別添17添付用)「事前検証状況」の機械導入前の検証値が、事業実施翌年度の機械導入後の検証値を記入し、**1日当たり総労働時間の削減率を確認**し、その成果を確認するものであります。

作業日誌 A (日報方式:例)

経営体名

測定期間

〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 〇〇月〇〇日

測定年月日

〇〇年〇〇月〇〇日

作業者名	雇用区分 ※該当に○	作業区分	1日あたり 労働時間 時間 分	時刻 ※労働時間帯に網掛けする																			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
	家族・常雇・臨時雇	搾乳																					
		飼料給与																					
		家畜飼養管理																					
		飼料生産																					
		ふん尿処理																					
	家族・常雇・臨時雇	その他																					
		小計																					
		搾乳																					
		飼料給与																					
		家畜飼養管理																					
	家族・常雇・臨時雇	飼料生産																					
		ふん尿処理																					
		その他																					
		小計																					
		搾乳																					
	家族・常雇・臨時雇	飼料給与																					
		家畜飼養管理																					
		飼料生産																					
		ふん尿処理																					
		その他																					
	家族・常雇・臨時雇	小計																					
		搾乳																					
		飼料給与																					
		家畜飼養管理																					
		飼料生産																					
	家族・常雇・臨時雇	ふん尿処理																					
		その他																					
		小計																					
		搾乳																					
		飼料給与																					
	家族・常雇・臨時雇	家畜飼養管理																					
		飼料生産																					
		ふん尿処理																					
		その他																					
		小計																					
計		搾乳																					
		飼料給与																					
		家畜飼養管理																					
		飼料生産																					
		ふん尿処理																					
		その他																					
		小計																					
		搾乳																					
		飼料給与																					
		家畜飼養管理																					
		飼料生産																					
		ふん尿処理																					
		その他																					
		小計																					
		搾乳																					

作業日誌B (月報方式:例)

経営体名

測定年月 △△年△△月

作業区分	作業者名	雇用区分 ※該当に○	測定日 ※測定した日に時間を10進法で記入(3時間30分の場合⇒3.5と入力)																															集計欄		備考	
																																		測定 日数	測定労働 時間計		1日あたり 標準労働時間 時間
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
搾乳		家族・常雇・臨時雇																															0	0.0			
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	#DIV/0!			
飼料 給与		家族・常雇・臨時雇																															0	0			
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	#DIV/0!			
家畜 飼養 管理		家族・常雇・臨時雇																															0	0			
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	#DIV/0!			
飼料 生産		家族・常雇・臨時雇																															0	0			
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	#DIV/0!			
ふん尿 処理		家族・常雇・臨時雇																															0	0			
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	#DIV/0!			
その他		家族・常雇・臨時雇																															0	0			
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
		家族・常雇・臨時雇																															0				
	小計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	#DIV/0!			
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	#DIV/0!		

